



Frontier
Step
Change

FUKUOKA SOFTWARE CENTER

2022年度 IT技術者育成研修講座のご案内

<https://www.fsc-go.co.jp>

【INDEX】

株式会社 福岡ソフトウェアセンター 2022年度 IT技術者育成研修講座

【研修のご案内】

◆弊社の研修への取り組み	2
◆研修の全体体系	2
◆FISAタイアップ研修	3
◆ITスキル標準(ITSS)とは	3
◆公的助成金制度のご案内	3
◆新型コロナウイルス感染防止対策のための研修運営ガイドラインについて	4
◆福岡研修室の全面リニューアルについて	4

【2022年度 研修日程】

◆ITエンジニア育成コース:新入社員研修	5
◆IT技術コース:基盤、アプリケーション	6
◆ビジネススキルコース、ヒューマンスキルコース	6～7
◆オンライン共同研修	7

【2022年度 研修 カリキュラム内容】

◆IT技術コース:基盤	8～10
◆IT技術コース:アプリケーション	11～16
◆ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス	16～17
◆ビジネススキルコース:問題解決・思考方法	17～19
◆ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント	19～21
◆ヒューマンスキルコース:リーダーシップ	22～23
◆ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他	23～26
◆オンライン共同研修	27～29

【受講申込のご案内】

◆お申込み方法、受講料お支払い方法、お問い合わせ先	30
◆個人情報の取り扱いについて	31
◆FSC受講申込書	32

【研修会場のご案内】

- ◆マップ

※各研修の詳細なカリキュラムについては、弊社ホームページ「講座情報」⇒「詳細」よりご確認ください。

<https://www.fsc-go.co.jp/course.html>

【研修のご案内】

◆弊社の研修への取り組み

近年における産業の近代化・高度化にともなう進歩は、情報化の飛躍的な発展をもたらし、革命的とも言える変遷をとげております。こうした情報化の厳しくかつ激しい時代の流れのなかで、企業にとってこの情報化に対する「高度情報処理技術者」の育成や確保という問題はまさに生き残りをかける程の重要性を帯びるまでになっております。弊社は地域産業発展の礎となるこの「高度情報処理技術者」の育成を第一使命として、平成四年に国・県・市・民間出資により、第三セクター方式で設立されました。

「1. ヒトを育てる 2. 拠点をつくる 3. 事業を起こす」の三つの柱を基に、産・学・官のコーディネーターとして、21世紀の高度情報化社会を担う人材の育成と技術の向上に努めているところです。

本書はその第一の柱である「1. ヒトを育てる」を実践するために、弊社が主催するIT技術者育成研修を各企業様に広くご活用頂くためのご紹介資料です。皆様のご利用を心よりお待ちしております。

◆研修の全体体系

●新入社員研修(4月～6月:3ヵ月コース)

ITエンジニア育成コース(4月～6月)

・新入社員研修

※詳細については弊社HP News「2022年度新入社員研修のご案内」よりご確認ください。

Basic Technology



●IT技術者育成研修(7月～2月)

IT技術コース(7月～2月)

- ・基盤
- ・アプリケーション

Professional Technology



ビジネススキルコース(7月～2月)

- ・戦略立案・ビジネスアナリシス
- ・問題解決・思考方法
- ・プロジェクトマネジメント

Business Skills



ヒューマンスキルコース(7月～2月)

- ・リーダーシップ
- ・コミュニケーション・その他

Human Skills



◆FISAタイアップ研修



IT技術者育成研修(7月～2月)は、弊社が単独で主催するものと、一般社団法人福岡県情報サービス産業協会(FISA)とタイアップにて開催する「FISAタイアップ研修」があります。

FISAタイアップ研修は、「研修日程(P6～P7)のTopic欄」に『FISA xx』と記載しています。

FISA会員の企業様は、FISAにお申込みいただくと、会員価格(「研修日程の受講料欄」に記載)にてご受講いただくことができます。お申込み方法は「受講のご案内」(P30)をご覧ください。

※FISA:一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会 (<https://www.fisa.jp/>)



◆ITスキル標準(ITSS)とは

各種IT関連サービスの提供に必要とされる能力を明確化・体系化した指標であり、産学におけるITサービス・プロフェッショナルの教育・訓練等に有用な「ものさし」(共通枠組)を提供しようとするものです。

ITサービス企業においては、企業戦略に沿った戦略的な人材育成・調達を行う際の指標となり、自社に必要な人材のポートフォリオを示すための共通言語となります。

独自の取り組みによって既にスキルに関する何らかの基準を持つ企業においては、スキル標準との対応関係の整理を行うことにより、自社の基準の客観的な位置づけを把握することが可能となります。

ITスキル標準は、これらのプロフェッショナルの成長・育成に関連する様々な主体が、有機的な連携を図る上で必要な辞書的な機能を持つことを目指すものです。

※独立行政法人 情報処理推進機構 ITスキル標準センターのホームページより抜粋

https://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/download_V3_2011.html



◆公的助成金制度のご案内

助成金とは、主に厚生労働省が管掌している雇用に関連した支援金といわれています。

弊社が行っている研修につきましても、一部研修が対象とされていますので助成金申請を行うことにより、支援金を国から受け取ることができます。

その場合に申請して頂く助成金の種類が「人材開発支援助成金」といいます。

【人材開発支援助成金(訓練関連)】

雇用保険の被保険者に対し、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした訓練を実施した場合、その経費や賃金の一部を助成します。

支給対象となる訓練	経費助成		賃金助成 (1人1時間当たり)	
		生産性要件 を満たす場合		生産性要件 を満たす場合
①特定訓練コース	45%(30%)	60%(45%)	760円(380円)	960円(480円)
②一般訓練コース	30%	45%	380円	480円

※()は抽象記号以外の助成額・助成率

人材開発支援助成金については、福岡労働局(助成金センター)又は弊社までお問い合わせ下さい。

弊社では申請書類作成のサポートを行っております。お気軽にご相談下さい。

【公的助成金のお問い合わせ先】

福岡助成金センター(福岡労働局) ※福岡県外の企業様は各県の労働局助成金センターへお問い合わせ下さい。

〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2-11-1 福岡合同庁舎本館1F TEL:092-411-4701(直通)

㈱福岡ソフトウェアセンター(申請書類作成のサポート等)

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5F TEL:092-292-9710

担当:中村、能塚

◆新型コロナウイルス感染防止対策のための研修運営ガイドラインについて

(株)福岡ソフトウェアセンターでは、研修を実施するにあたり、新型コロナウイルス感染症防止対策として、以下のガイドラインに沿って運営してまいります。

1. ソーシャルディスタンスの確保

- ①受講生の座席間隔を十分確保し、2人掛けの場合は、アクリル板等で飛沫を防ぎます。
- ②窓やドアの開閉による換気を定期的に行います。
- ③講師と受講生の距離を確保します。

2. 衛生管理

- ①参加者に終日マスク着用をお願いします。
- ②会場に消毒液を設置し、入室時に手の消毒をお願いします。
- ③会場内の消毒を徹底します。

3. ご参加者の健康管理

- ①開始前に参加者の検温を行い37.5度を上回る場合は、受講をご遠慮いただきます。
- ②新型コロナウイルス感染症陽性とされた方と濃厚接触が疑われる場合は、受講をご遠慮いただきます。

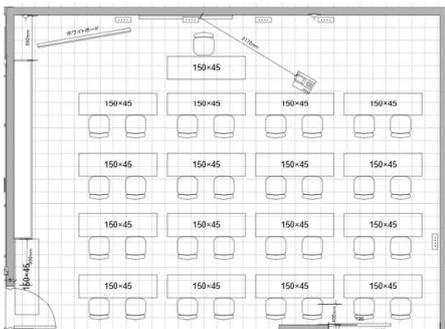
4. 研修のオンライン対応

- ①緊急事態宣言が発令されるなど感染状況によっては、オンライン研修に切替えて実施いたします。
- ②オンライン研修が難しい場合、研修を中止・延期する場合があります。

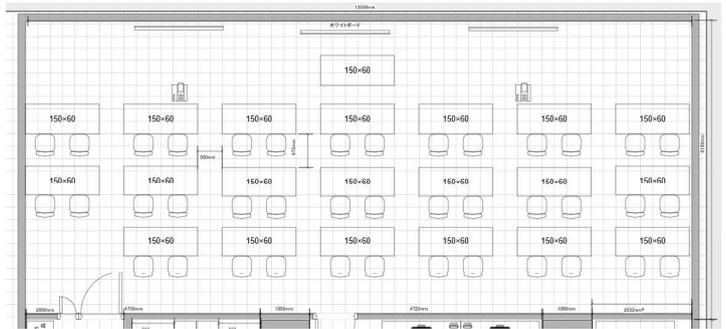
◆福岡研修室の全面リニューアルについて

ソーシャルディスタンス確保の為、令和3年4月に(株)福岡ソフトウェアセンター福岡研修室を増床リニューアルいたしました。

OLD



NEW



●研修室の広さを約1.6倍に拡張

研修室を大幅に増床(50㎡⇒80㎡)することで、ソーシャルディスタンスを確保します。

●研修用機の大型化

研修機の奥行きを15cm大きくすることで、より快適な研修環境を提供します。

●研修用スクリーンの増設

研修用スクリーンを受講人数に合わせて準備(1台～3台)することで、講義の質を高めます。

【2022年度 研修日程】

No	講座名	受講料 (税抜)	日数	ITSS	4月	5月	6月	研修内容
ITエンジニア育成コース:新入社員研修								
01	ITエンジニアに必要なビジネススキル1	54,000円	3日間	-	6-8			ITエンジニアに必要なビジネススキルを習得します。挨拶・電話応対・名刺交換等のビジネスマナーをはじめとし、PDCA・報連相といった仕事の基礎的内容からビジネスに不可欠なコミュニケーション、ITエンジニアとして求められるマナーを習得します。
02	コンピュータサイエンス	54,000円	3日間	1	11-13			コンピュータ技術で最も基礎となるコンピュータのしくみやハードウェア及びソフトウェアの機能を学習します。
03	開発に必要なドキュメント作成 (Excel&Word&Mail)	36,000円	2日間	1	14-15			開発で利用するドキュメントを効率よく作成するために必要なExcelとWordの機能を学習します。また、メールにおける文章の書き方等、業務での利用方法を学びます。
04	データベース技術	54,000円	3日間	1	18-20			情報システムの基盤となるデータベースをファイルの概念を含め、データ操作に必要な知識を中心に学習します。また、RDBMS製品を使用したハンズオントレーニングも行います。
05	ネットワーク技術	72,000円	4日間	1-2	21-26			現在の情報システムに欠かせないネットワーク技術について、LANを中心にC/S(クライアント/サーバ)ネットワークの基礎知識を学習します。ネットワークの設計、構築を中心に、机上/実機演習を行います。
06	アルゴリズム	54,000円	3日間	1-2	27-2			プログラミングする上での前提知識であるアルゴリズムおよびデータ構造を、流れ図(フローチャート)を使った演習を通して学習します。
07	情報セキュリティ&データ管理	36,000円	2日間	1-2		6-9		情報セキュリティの考え方や情報モラルに関して基礎的な内容を学びます。またデータを扱う上で必要となるOSやネットワーク上でのデータ管理および設定方法に関して学習します。
08	プログラミングワークショップ1 (Java言語)	36,000円	2日間	1		10-11		Java言語の基本文法(式と演算子、変数と型、制御構造、配列等)について理解し、演習を通してプログラミングスキルを習得するワークショップです。
09	プログラミングワークショップ2 (Java言語)	36,000円	2日間	1		12-13		プログラミングワークショップ1に引き続きJava言語の基本文法(メソッド等)を学習します。プログラミング課題を実施することによりさらにプログラミングスキルを深めます。
10	HTML5/CSS3	36,000円	2日間	1-2		16-17		Webページ作成の基本および、主流となっているHTML5とCSSでのWebページ構築について学習します。
11	ITエンジニアに必要な プレゼンテーション実践	36,000円	2日間	1-2		18-19		IT技術者にとって対人対応能力は不可欠であり、様々なシーンで伝える場面があります。目的や相手に合わせたプレゼンテーション課題に取り組みながら提案力、構成力、情報収集力、問題解決力の基本を身につけます。
12	Java言語による オブジェクト指向プログラミング	90,000円	5日間	1-2		20-26		オブジェクト指向について理解し、Java言語でオブジェクト指向プログラミングを行う力を身につけます。
13	システム開発およびレビューとテスト	36,000円	2日間	1-2		27-30		Webアプリケーション開発に必要なサーバサイドJavaのサーブレットおよびJSPに関して学習します。Tomcatを用いたアプリケーションサーバの構築、さらにJDBCでのDBアクセスも学習します。
14	サーバサイド技術	108,000円	6日間	2		31-7		システム開発の上流工程である要件定義および外部設計をグループで行っていきます。課題はWebアプリケーションの開発で、プロジェクトの開発現場を経験する実践的なワークショップです。
15	システム開発ワークショップ1	90,000円	5日間	2		8-14		システム開発の上流工程である要件定義および外部設計をグループで行っていきます。課題はWebアプリケーションの開発で、プロジェクトの開発現場を経験する実践的なワークショップです。
16	システム開発ワークショップ2	180,000円	10日間	2		15-28		システム開発ワークショップ1で作成した要件定義書および外部設計書を元に、内部設計、製作、デバッグと下流工程を含めて全ての工程を実施します。グループでのプロジェクト開発であり決められた納期までに品質を考慮して完成させる実践的なワークショップです。最終日はワークショップで開発した成果をグループで発表します。
17	ITエンジニアに必要な ビジネススキル2	36,000円	2日間	-		29-30		全研修を振り返りIT人材として自身の成果とこれからの決意を個人毎にプレゼンテーションを行います。また配属に際してITエンジニアに必要なコミュニケーション及びビジネススキルの見直しを行います。

※ITエンジニア育成コースのカリキュラム詳細は、弊社HPの講座情報⇒詳細に掲載しております。

【2022年度 研修日程】

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税抜)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
IT技術コース: 基盤													
	100	Raspberry PiによるIoTことはじめ	P8	55,000円	2日間	25-26							
NEW	101	ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ～最新動向と対策の基本～	P8	70,000円	3日間		8-10						
NEW	102	基礎から学ぶ「情報セキュリティ」～ネットワークエンジニアが教える情報セキュリティ入門～	P9	55,000円	2日間		30-31						
	103	Webアプリケーション開発のための情報セキュリティ対策	P9	55,000円	2日間			12-13					
NEW	104	IT技術者必須のネットワーク技術～ネットワークの基本から構築まで～	P10	70,000円	3日間				5-7				
NEW オンライン	105	《オンライン》基礎から学ぶ「情報セキュリティ」～ネットワークエンジニアが教える情報セキュリティ入門～	P10	55,000円	2日間								16-17
IT技術コース: アプリケーション													
	106	Pythonによる機械学習入門	P11	55,000円	2日間	14-15							
	107	ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習	P11	55,000円	2日間	21-22							
	108	Pythonで学ぶ機械学習	P12	55,000円	2日間			1-2					
	109	SQL ～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで～	P12	70,000円	3日間			6-8					
NEW	110	オブジェクトの観点で基礎から学ぶJavaScript	P13	65,000円	2日間			27-28					
	111	KerasによるAIモデルの構築手法	P13	55,000円	2日間				3-4				
	112	ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習(実践編)	P14	55,000円	2日間				11-12				
	113	Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで～	P14	70,000円	3日間				25-27				
オンライン	114	《オンライン》IT技術者のためのRPA入門	P15	55,000円	2日間							12-13	
FISA04 オンライン	115	《オンライン》Pythonで学ぶ機械学習	P15	63,000円(会 員) 70,000円(非会員)	3日間								1-3
NEW FISA05 オンライン	116	《オンライン》レスポンスWeb入門研修～マルチデバイスに対応したサイト制作～	P16	50,000円(会 員) 55,000円(非会員)	2日間								9-10
ビジネススキルコース: 戦略立案・ビジネスアナリシス													
	117	生産性を上げるタイムマネジメント	P16	29,000円	1日間		5						
オンライン	118	《オンライン》顧客の心をつかむITソリューション提案の実践	P17	55,000円	2日間					9-10			
ビジネススキルコース: 問題解決・思考方法													
NEW	119	「ロジカル×ラテラル」シンキング研修	P17	55,000円	2日間	20							
	120	アイデアの発想展開法	P18	55,000円	2日間				13-14				
オンライン	121	《オンライン》システム開発におけるレビュー技法～ミーティング時間の短縮とより重大な欠陥をみつけるために～	P18	55,000円	2日間					24-25			
オンライン	122	《オンライン》信頼されるSEに求められる問題解決力	P19	55,000円	2日間							23-24	

【2022年度 研修日程】

Topic	No	講座名	詳細 (P)	受講料 (税抜)	日数	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント													
NEW	123	デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案	P19	55,000円	2日間	12-13							
	124	デジタル時代の変化に対応するプロジェクトマネジメント ～PMBOKとアジャイルのイトコ取り～	P20	55,000円	2日間		23-24						
NEW	125	デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」アップ	P20	55,000円	2日間			15-16					
オンライン	126	《オンライン》失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～プロジェクトの立上げと計画立案のために～	P21	55,000円	2日間						22-23		
オンライン	127	《オンライン》失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～	P21	55,000円	2日間							19-20	
ヒューマンスキルコース:リーダーシップ													
	128	ファンリテーション力向上研修	P22	29,000円	1日間		26						
	129	活かすフォローシップ	P22	55,000円	2日間				20-21				
オンライン	130	《オンライン》チームリーダーのための人に教える技術 ～自分で考えて動ける人材を育てる～	P23	55,000円	2日間						7-8		
ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他													
NEW FISA01	131	チームビルディング研修 ～メンバーがいきいきと成果を出せるチームを作る～	P23	26,000円(会 員) 29,000円(非会員)	1日間	28							
FISA02	132	ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性	P24	26,000円(会 員) 29,000円(非会員)	1日間		1						
FISA03	133	女性管理職(女性リーダー)育成研修 ～個性を認め魅力あるチーム作りを目指して～	P24	26,000円(会 員) 29,000円(非会員)	1日間		3						
NEW	134	職員サポート研修～産休育休前後の職員サポートについて～	P25	29,000円	1日間			9					
NEW	135	目標管理研修 ～目標管理を効果的に進める手法～	P25	29,000円	1日間			14					
NEW	136	部下のモチベーションを引き出す 1on1 コーチング	P26	29,000円	1日間				17				
	137	IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～	P26	55,000円	2日間				18-19				
オンライン共同研修 ※他企業(株式会社 北海道ソフトウェア技術開発機構 等)の受講者も一緒に受講する場合があります。													
オンライン	300	《オンライン》IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～	P27	50,000円	3日間	19-21							
オンライン	301	《オンライン》IT技術者のためのリーダーシップ ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～	P27	50,000円	3日間		22-24						
オンライン	302	《オンライン》IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～	P28	50,000円	3日間			20-22					
オンライン	303	《オンライン》IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～	P28	50,000円	3日間					28-30			
オンライン	304	《オンライン》IT技術者のためのリーダーシップ ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～	P29	50,000円	3日間						14-16		
オンライン	305	《オンライン》IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～	P29	50,000円	3日間								13-15

※最低開催人数は5名とさせて頂いております。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させて頂きます。

※講座改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

※Topicに「NEW」と記された講座は、今年度より新たに開催される講座です。

※Topicに「オンライン」と記された講座は、オンラインでのみ実施される講座です。オフィスやご自宅でご受講下さい。

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース: 基盤

100 Raspberry PiによるIoTこととはじめ

実施日	7/25～7/26	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	1. RaspberryPi ・RaspberryPiの種類 ・製品仕様 ・OS ・GPIO 2. Raspbian ・Raspbianとは ・Raspbianのインストール ・Linuxの基本コマンド 3. GPIOを使ったLED制御 【演習】 ・GPIOにLEDの接続 ・PythonからGPIOを操作してLEDを制御する 4. Python ・Pythonの基本文法 ・GPIO制御モジュール 5. GPIOを使ってスイッチ操作を検知 【演習】 ・GPIOにタクトスイッチを接続 ・PythonでON/OFFを検知する 6. センサ情報を取得 【演習】 ・GPIOにセンサを接続しPythonでデータを取得する 7. ネットワークサービスとの通信 【演習】 ・Raspbianのネットワーク設定 ・Webサービスとは ・Pythonのhttpplibモジュール ・リモートPCにWebサービスを設置しPythonから接続する ・センサ情報をリモートPCに送信しランプを制御する 8. モーター制御 ・GPIOにモーターを接続しPythonから操作する 9. リモートからRaspberryPiを操作 【演習】 ・リモートPCからブラウザを使用してRaspberryPiを操作 ・RaspberryPiにWebサーバーを動作させる ・PythonでWebアプリケーションを構築しモーターを制御する	
ITSS	2-3	●カリキュラムの概要			
Raspberry Pi 3を使って、Raspbianのインストールから環境設定、Raspbian(Linux)の基本コマンド、Pythonを使ってGPIOピンに接続したパーツ(センサ、LED、モーター)を制御、そしてネットワークからHTTPを介してRaspberry Piをコントロールする知識を習得します。					
●到達目標					
1. Raspberry PiにRaspbianをインストールし環境設定をすることができる 2. GPIOピンを使いスイッチやLED、センサなどの制御の基本を体験する 3. ネットワークを使用したデータ送信やRaspberryPiへの指示を体験する					

101 ルータを中心に学ぶネットワーク基礎とセキュリティ ～最新動向と対策の基本～

NEW

実施日	8/8～8/10	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	70,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～17:30	総時間数	21時間	1. ネットワークとは ・OSI参照モデル ・Webの通信からネットワークを解剖する ・TCP/IPって何? ・Wiresharkで調査する 2. セキュリティとは ・最新セキュリティ事情 ・ポートスキャン ・DoS攻撃/DDoS攻撃 3. DoS (1) DoS攻撃手法 (2) DoS攻撃の検知と対策 4. ネットワーク層プロトコル ・IP(Internet Protocol) … IPアドレスとサブネットマスク、TTL、ネットワークアドレスとブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイ ・IPアドレスとサブネットマスク(実習) ・ルータ… ルーティングテーブル、スタティックルーティング、ダイナミックルーティング、ルータのルーティング設定(実習) ・ルータ… プライベートIPアドレス、アドレス変換技術(NAT、IPマスカレード) ・ICMP(Internet Control Message Protocol) … ping、tracert pingのしくみ、経路情報なしの動作、ルーティングループの動作(実習) 5. ネットワーク層プロトコル ・ARP(Address Resolution Protocol) … ARPとarpキャッシュ 6. データリンク層プロトコル ・Ethernet … MACアドレス、ARPのしくみ ・リピータハブ … CSMA/CD ・スイッチングハブ … MACアドレステーブル、フラッドイング、ブロードキャストストーム 7. トランスポート層プロトコル ・TCP(Transmission Control Protocol) … ポート番号、フラグ、TCPの状態遷移 ・UDP(User Datagram Protocol)、TCPの動作 8. 暗号技術と認証技術 ・共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式 ・ハイブリッド暗号方式 ・パスワード認証(チャレンジ&レスポンス認証) ・公開鍵認証 9. 暗号技術と認証技術 ・デジタル署名 ・第三者認証(認証局とPKI) ・SSL 10. アプリケーション層プロトコルとセキュリティ ・DNS(Domain Name System) … リゾルバ、hostsファイル、nslookup、リゾルバキャッシュ ・HTTP(Hyper Text Transfer Protocol) … メソッド、ステータスコード、HTTPヘッダ ・SMTP(Simple Mail Transfer Protocol) … MUA、MTA、SMTPコマンド、応答コード、メールの盗聴、SPAMメールと対策 ・POP3(Post Office Protocol version 3) パスワード漏洩 ・DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)	
ITSS	1-3	●カリキュラムの概要			
ネットワーク技術者が知っているべきネットワーク基礎知識とセキュリティ基礎知識を実機を使いながら学習します。 IP/TCP/UDPなどネットワーク基礎知識、暗号技術/認証技術に関する基本から認証局までネットワークを利用する上で押さえておかなければならない知識を演習を通して身につけます。					
●到達目標					
1. ネットワークの基本的知識を習得しネットワークの設計ができるようになる 2. ネットワーク利用者のセキュリティリスクを認識する 3. ネットワークトラブルの原因を解析できるようになる 4. セキュリティを保つための技術を習得し、行動と心構えを身につける					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース: 基盤

102 基礎から学ぶ「情報セキュリティ」～ネットワークエンジニアが教える情報セキュリティ入門～

NEW

実施日	8/30～8/31	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. 情報セキュリティの概要 ・情報セキュリティのトレンドを知ろう ・セキュリティインシデントとは ・なぜ、攻撃するのか? ・情報セキュリティのCIA	
ITSS:	1-2	2. ネットワークの基礎 ・インターネットとは ・パケット交換 ・クライアントとサーバ ・ネットワーク接続機器(スイッチ、ルータ)			
●カリキュラムの概要				3. 通信のしくみ ・TCP/IPプロトコル ・MACアドレス ・IPアドレス ・ポート番号 ・ツールを使ってパケットの中身を見てみる【演習】	
「セキュリティ」は専門家だけのものではなく、インターネットに接続する人であれば誰でも意識しておくべきです。 本講座では、情報システムのセキュリティ対策を実施・維持するためのセキュリティ技術について、ネットワークの観点から演習を通して習得します。				4. ネットワーク上のサービス ・ドメイン名とDNS ・WWW ・電子メール ・ファイルサーバ ・TELNET ・ネットワークコマンドを用いた動作確認【演習】 ・ネットワークサービスの利用【演習】	
●到達目標				5. 不正アクセス ・ネットワークに潜む脅威 ・様々な不正アクセスの手法 ・ポートスキャン【演習】	
1. 情報セキュリティの必要性について理解できる				6. 標的型攻撃 ・電子メールを使った攻撃 ・Webサービスを使った攻撃 ・ソーシャルエンジニアリング ・偽サイトへの誘導体験【演習】	
2. ネットワークからの不正侵入のしくみが理解できる				7. ネットワークのセキュリティ対策 ・ネットワークに対する攻撃 ・ネットワークの分割 ・ファイアウォール ・IDS/IPS ・Proxyサーバ	
3. 情報システムに対する脅威への対策が理解できる				8. 暗号技術と認証 ・盗聴・改ざん・なりすまし・否認 ・暗号とは ・認証システム	
				9. まとめ ・情報システムの運用管理	

103 Webアプリケーション開発のための情報セキュリティ対策

実施日	9/12～9/13	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. Web技術基礎【講義/演習】 (1)HTML、CSS、XHTML、XML、DOM (2)HTTP、Cookie、セッション管理 (3)サーバサイド言語、クライアントサイド言語 (4)Webサービス	
ITSS:	2-3	2. Webアプリケーションに関連する攻撃 (1)パラメータ改竄 (2)スクリプトインジェクション (3)クロスサイトスクリプティング (4)クロスサイトリクエストフォージェリ (5)SQLインジェクション (6)LDAPインジェクション (7)XQuery、XPathインジェクション、XMLインジェクション (8)HTTPヘッダインジェクション (9)HTTPレスポンススプリットティング (10)強制ブラウズ (11)ディレクトリトラバース (12)ヌルバイト攻撃 (13)OSコマンドインジェクション			
●カリキュラムの概要				3. Webサーバのセキュリティ設定 (1)一覧表示の抑止 (2)プログラム名/バージョン情報送出手の抑止	
Webアプリケーションシステムの脆弱性が原因で発生するWebページの改ざん、情報漏えい、利用者に被害が及ぶ攻撃のしくみを実機を通して体験的に学習します。 グループディスカッションで問題対策技術を話し合うことにより、必要なWeb技術をより深く理解します。				4. SSL(Secure Sockets Layer) (1)暗号技術、認証技術 (2)認証局、デジタル証明書 (3)ApacheのSSL設定	
●到達目標				5. Webで利用されるアクセス制限 (1)ユーザ認証によるアクセス制限 (2)接続元ホストによるアクセス制限 (3)接続元ホストとユーザ認証を組み合わせたアクセス制限 (4)アプリケーションによる認証機能の実装	
1. 安全なWebアプリケーションの設計ができる				6. DNSサーバのセキュリティ (1)DNSキャッシュ汚染攻撃とは (2)DNSキャッシュ汚染対策	
2. 安全なWebアプリケーションのコーディングができる				7. プロキシサーバ (1)フォワードプロキシ、リバースプロキシ (2)プロキシを使う上での問題点	
3. Webサーバのセキュリティを設定できる				8. データベース (1)スキーマの管理 (2)アクセス権限の管理 (3)ビュー表の利用 (4)三層構造における完全な監査証拠の保存(SOX法対策)	
4. Webシステムの安全な運用環境を構築できる				9. セキュリティ運用 (1)セキュリティ診断 (2)侵入検知(IDS) (3)ログの監視	

104 IT技術者必須のネットワーク技術 ～ネットワークの基本から構築まで～

NEW

実施日	10/5～10/7	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	70,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～17:30	総時間数:	21時間	1. ネットワークの基礎知識 ・通信プロトコル ・レイヤー ・OSI参照モデル ・LANとWAN ・回線交換とパケット交換	
ITSS:	1-2	2. TCP/IPの基礎知識 ・TCP/IPのレイヤー構成 ・OSI参照モデルとの対応 ・ネットワークインタフェース層の役割 ・インターネット層の役割 ・トランスポート層の役割 ・アプリケーション層の役割 ・IPアドレス ・ポート番号 ・グローバルIPとプライベートIP ・サブネット化とサブネットマスク ・ハブ/スイッチの役割と機能 ・ルータの役割と機能			
●カリキュラムの概要			3. TCP/IPで通信するための仕組み ・MACアドレス ・ドメイン名 ・ルーティングとデフォルトゲートウェイ ・スタティックルーティングとダイナミックルーティング ・DHCPサーバ ・NATとNAPT		
IT技術者に要求されるネットワーク技術を、演習を通して習得します。 ネットワーク上の通信の基礎から、スイッチやルータなどの通信機器の動作について学び、実際にネットワーク設計および構築を行います。			4. ネットワーク機器と仮想化 ・イーサネットの機能と構成 ・L2スイッチ ・L3スイッチとルータ ・無線LAN ・仮想化		
●到達目標			5. ネットワークのサービス ・Webを支える技術 ・HTTP ・SMTP ・POP3とIMAP4 ・DNS		
1. ネットワークのしくみが理解できる			6. ネットワークのセキュリティ ・情報セキュリティの3大要素 ・ソーシャルエンジニアリング ・標的型攻撃		
2. 主要なネットワークコマンドを活用したトラブルシューティングができる			7. ネットワークの構築と運用 ・ネットワーク構成の設計 ・サブネット構成とIPアドレス割り当て ・トラブルシューティング		
3. スイッチやルータなど通信機器の動作が理解できる			8. ネットワーク構築演習 ・スイッチ・ルータを用いたネットワーク構築		
4. 基本的なネットワークの設計および構築ができる			9. まとめ ・ネットワーク技術の最新動向		

105 《オンライン》基礎から学ぶ「情報セキュリティ」～ネットワークエンジニアが教える情報セキュリティ入門～

NEW

実施日	2/16～2/17	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. 情報セキュリティの概要 ・情報セキュリティのトレンドを知ろう ・セキュリティインシデントとは ・なぜ、攻撃するのか? ・情報セキュリティのCIA	
ITSS:	1-2	2. ネットワークの基礎 ・インターネットとは ・パケット交換 ・クライアントとサーバ ・ネットワーク接続機器(スイッチ、ルータ)			
●カリキュラムの概要			3. 通信のしくみ ・TCP/IPプロトコル ・MACアドレス ・IPアドレス ・ポート番号 ・ツールを使ってパケットの中身を見してみる【演習】		
「セキュリティ」は専門家だけのものではなく、インターネットに接続する人であれば誰でも意識しておくべきです。 本講座では、情報システムのセキュリティ対策を実施・維持するためのセキュリティ技術について、ネットワークの観点から演習を通して習得します。			4. ネットワーク上のサービス ・ドメイン名とDNS ・WWW ・電子メール ・ファイルサーバ ・TELNET ・ネットワークコマンドを用いた動作確認【演習】 ・ネットワークサービスの利用【演習】		
●到達目標			5. 不正アクセス ・ネットワークに潜む脅威 ・様々な不正アクセスの手法 ・ポートスキャン【演習】		
1. 情報セキュリティの必要性について理解できる			6. 標的型攻撃 ・電子メールを使った攻撃 ・Webサービスを使った攻撃 ・ソーシャルエンジニアリング ・偽サイトへの誘導体験【演習】		
2. ネットワークからの不正侵入のしくみが理解できる			7. ネットワークのセキュリティ対策 ・ネットワークに対する攻撃 ・ネットワークの分割 ・ファイアウォール ・IDS/IPS ・Proxyサーバ		
3. 情報システムに対する脅威への対策が理解できる			8. 暗号技術と認証 ・盗聴・改ざん・なりすまし・否認 ・暗号とは ・認証システム		
			9. まとめ ・情報システムの運用管理		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

106 Pythonによる機械学習入門

実施日	7/14~7/15	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション	
ITSS:	1-2	1. 機械学習とディープラーニング			
●カリキュラムの概要			◎カリキュラムの詳細		
<p>第4次産業革命の主役の一つであるAIについて、そのキーワードである機械学習とディープラーニングの基礎をPython言語を使いながら学習します。</p> <p>Googleがオープンソースで公開しているTensorFlowを使ってディープラーニングとはどんなものかを体験する研修です。</p>			<p>(1)機械学習とは ・機械学習の分類 ・教師あり/教師なし学習のアルゴリズム</p> <p>(2)ディープラーニングとは ・ニューラルネットワーク ・パーセプトロン</p> <p>2. 環境 (1) Anacondaインストール (2) Anaconda使い方</p> <p>3. Python基礎 (1) 宣言とコメント (2) データ型 (3) 演算子 (4) 制御文 (5) 関数 (6) その他文法 (7) ファイル入出力 (8) NumPyモジュール (9) Pandasモジュール (10) JupyterNotebookの使い方 (11) matplotlibモジュール (12) 機械学習用データの準備</p> <p>4. scikit-learnによる機械学習 (1) scikit-learnとは (2) 回帰分析 (3) 教師あり学習 (k近傍法、パーセプトロン) (4) ロジスティック回帰 (5) サポートベクターマシン (6) ニューラルネットワーク (7) 教師なし学習</p> <p>5. TensorFlowによるディープラーニング (1) TensorFlowとは (2) TensorFlowインストール (3) TensorFlowの基本 (4) TensorFlowで機械学習 (5) TensorFlowでディープラーニング</p> <p>◎総まとめ</p>		
●到達目標					
<p>1. 機械学習とは何か、ディープラーニングとは何かを説明できるようになる</p> <p>2. Pythonでの環境設定と簡単な文法を習得する</p> <p>3. scikit-learnとTensorFlowの使用を体験する</p>					

107 ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習

実施日	7/21~7/22	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	12時間	1. Python入門	
ITSS:	1-3	<ul style="list-style-type: none"> データ分析の考え方 Pythonのプロプログラミング基礎 			
●カリキュラムの概要			2. Pythonデータ分析基礎		
<p>本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、Pythonのプログラミング基礎からPythonによる主要なデータ分析手法を学びます。</p> <p>さらには、学んだデータ分析手法を駆使したデータ分析演習と豊富な実例を通して、ビジネスの現場で使えるデータ分析を学びます。</p>			<ul style="list-style-type: none"> Pythonによるデータの操作 グラフによる可視化 演習問題 		
●到達目標			3. Pythonによる主要な解析手法 (原因と結果のない分析)		
<p>1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること</p> <p>2. 様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること</p>			<ul style="list-style-type: none"> 主成分分析、コレスポンデンス分析、クラスター分析 演習問題 		
			4. Pythonによる主要な解析手法 (原因と結果のある分析)		
			<ul style="list-style-type: none"> 回帰分析、因子分析、アソシエーション分析、決定木分析、ランダムフォレスト 演習問題 		
			5. ビジネスの現場で使えるデータ分析演習		
			<ul style="list-style-type: none"> 需要予測分析演習 (重回帰分析、ランダムフォレスト) 		
			6. その他のデータ分析手法		
			<ul style="list-style-type: none"> 時系列分析 線形計画法 (最適化問題) オープンデータ活用 		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

108 Pythonで学ぶ機械学習

実施日	9/1～9/2	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	1. AIと機械学習の基礎 ・AIと機械学習とは ・教師あり学習/教師なし学習/強化学習 ・機械学習で出来ること、出来ないこと ・機械学習の流れ	
ITSS	3-4	2. Python基礎 ・Pythonプログラミング基礎 ・グラフによる可視化 ・Pythonによるデータ操作			
●カリキュラムの概要				3. 教師あり学習 ・教師あり学習の概要 ・線形モデル(線形回帰、リッジ回帰) ・ランダムフォレスト ・サポートベクターマシン(SVM) ・ニューラルネットワーク(ディープラーニング)	
本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、主要な機械学習手法を一通り学びます。 これから機械学習やAIに取り組みたいと思っている方に最適な機械学習入門講座です。				・k-最近傍法 ・決定木 ・勾配ブースティング 4. 教師なし学習 ・教師なし学習の概要 ・主成分分析(PCA) ・非負値行列因子分解(NMF) ・多様体学習(t-SNE) ・クラスタリング(k-means、凝集型、階層型、DBSCAN) 5. クラウドサービス活用 ・クラウドサービス概要 ・クラウド機械学習サービス(AWS)	
●到達目標					
1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること					
2. Pythonによる様々な機械分析手法の概要を理解すること					

109 SQL ～テーブル結合の基本からパフォーマンスチューニングまで～

実施日	9/6～9/8	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	70,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時間	9:30～17:30	総時間数	21時間	1. SQLのおさらい where句とは、group by～having句とは、order by句とは ・易しいが落とし穴もあるwhere句(ANDとORの優先順位、NULL比較)、 group byは集計関数と共に初學者同様学習する	
ITSS	1-3	2. パフォーマンスチューニングの入り口 ～Indexとは、Indexの使用 ・indexとは何かを知り使ってみる。Indexを高速に保つB木を知る ・カーディナリティや選択率によっては低速になるケースを知る			
●カリキュラムの概要				3. 少し難しいSQL文の学習 ～テーブル結合するinner join、left join等 ・内部結合(inner join～on) 外部結合(left/right join～on)を中心とする テーブル結合のSQL文を書いて実行できるようになる	
初歩的なselect文は書けるプログラマーに、テーブル結合やサブクエリ等一歩進んだSQL文を体系立てて習得していただく。 その際DBMS内部でどのようなアルゴリズムでSQL文が実行されているか見る手段、またそのアルゴリズムが高速になるように仕向ける手段(パフォーマンスチューニング)も習得する。 他にも、ビュー、トリガー、トランザクションといったDBを構成する要素を知り、テーブルの正規化も学び、設計～SQL実装までDBについて一通りの知識を有するSEになる。				4. 実行計画の見方、統計情報とは、 テーブル結合で使われるアルゴリズムを習得 ・パフォーマンスチューニングの土台となる知識(実行計画とは、 統計情報とは、実行計画の閲覧方法、テーブル結合のNested Loops、Hash、Sort Merge等)を知る	
●到達目標				5. ビューとは ～内部的にテーブル結合を使うビューの実装 ・ビューを学習しながら、前日の内部結合、外部結合の違いやアルゴリズムによるパフォーマンスの良しあしを復習する	
・サブクエリ(副問い合わせ)などSQL文を実装でき、SQLパフォーマンスを考慮できる				6. ウィンドウ関数(分析関数)を知る、SQL文法の大局をつかむ方法 ・unionとは何かを知ってSQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも) パフォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する	
・上流工程から、SQLパフォーマンスを見越して事前に布石を打つ設計をしたり、意見を述べられる				7. サブクエリの1、副問い合わせ(サブクエリ)とは ～実装して習得する ・最も簡単なスカラーサブクエリから始めることで、最難関SQLも一から習得できる	
				8. unionとは～SQL実装、unionのパフォーマンスとその代替 ・unionとは何かを知り、SQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも) パフォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する。	
				9. サブクエリの2、副問い合わせの中でも難しい相関サブクエリを習得 ・相関サブクエリと通常のサブクエリの違いを知る ・EXIST、NOT EXISTを使用してみる	
				10. ウィンドウ関数(分析関数)を知りサブクエリやテーブル結合を多用しないSQLのパフォーマンス演習 ・SQL文にループ構文がない理由を知る ・最悪のプログラム側でのループを紹介 ・GROUP BY句やウィンドウ関数(分析関数)の活用 ・SEとしてパフォーマンス悪化を説明する演習	
				11. テーブル設計の肝、正規化とは～正規化演習 トリガー、トランザクションも知ってDB知識の抜けをなくす ・パフォーマンスチューニング以外で、SEならば知っておきたい知識を網羅する ・特に大事なテーブル設計と正規化は改めて主キー、外部キーなども学び、正規化演習も行う	

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

110 オブジェクトの観点で基礎から学ぶJavaScript

NEW

実施日	9/27～9/28	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	65,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～17:30	総時間数:	14時間	1. 基本的な書き方とブラウザオブジェクト ・易しいが落とし穴もあるwhere句(ANDとORの優先順位、NULL比較)、group byは集計関数と共に初学者同様学習する	
ITSS:	1-3			2. データ型、連想配列の正体はオブジェクト ・indexとは何かを知り使ってみる。Indexを高速に保つB木を知る ・カーディナリや選択率によっては低速になるケースを知る	
●カリキュラムの概要			3. 演算子(new、deleteなど) ・内部結合(inner join～on) 外部結合(left/right join～on)を中心とするテーブル結合のSQL文を書いて実行できるようになる		
JavaScriptは独特なオブジェクト指向であるため、クラスベースの言語経験者には捉えどころのない言語仕様と映りがちです。 本講座では画面表示など導入部分から常にオブジェクトという観点で解説を添えていきます。 JavaやC++、C#などクラスベースの言語経験者も、JavaScriptのオブジェクトの正体を知り、腑に落ちて開発できる土台を作ります。			4. 組み込みオブジェクトを使いこなす ・パフォーマンスチューニングの土台となる知識(実行計画とは、統計情報とは、実行計画の閲覧方法、テーブル結合のNested Loops、Hash、Sort Merge等)を知る		
●到達目標			5. 関数とは ・ビューを学習しながら、前日の内部結合、外部結合の違いやアルゴリズムによるパフォーマンスの良しあしを復習する		
JavaScriptに独特なオブジェクト指向を理解し、デバッグや実装の生産性が高まる			6. イベントハンドラを用いた演習 ・unionとは何かを知ってSQL文を書いてみる(類似でunion all、minusも)パフォーマンスの点で代替となるINやCASEも学習する		
			7. 継承、ES2015で提供された機能など一歩進んだ記述法 ・最も簡単なスカラーサブクエリから始めることで、最難関SQLも一から習得できる		

111 Keras によるAIモデルの構築手法

実施日	10/3～10/4	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. AIの歴史 ・カリキュラムの概要説明 ・人工知能の歴史について	
ITSS:	2-4			2. 機械学習について ・アルゴリズムの分類 ・ニューラルネットワークの学習 ・パーセプトロン ・機械学習の種類	
●カリキュラムの概要			3. 今どきのAI開発 ・AI開発のトレンドについて		
AI開発における標準的なフレームワークであるKerasを使って、典型的な機械学習モデルの構築を行います。 当該カリキュラムにおいては、具体的なサンプルとしてMNISTを使った手書き文字認識を例にとりながらAI開発におけるKerasフレームワークの使い方を主に学びます。			4. 開発環境確認 ・環境構築手順の確認		
●到達目標			5. MNIST について/RNNを使った機械学習について ・MNISTとは ・MNISTデータの準備 ・学習の実行と結果確認 ・階層型NNを使った機械学習 ・入力データと出力データの成形		
1. RNNおよびCNNの概要を理解し、学習対象に応じて適切なモデルの選択ができる			6. Keras フレームワークによる高速化/CNNを使った機械学習 ・Kerasとは ・CNNを使った機械学習について ・入力データと出力データの成形 ・学習の実行と結果確認		
2. CAEの概要を理解し、適切に学習を行わせることができる			7. CNNを使った手書き文字認識 ・手書き文字作成 ・認識用プログラムの解説 ・学習の実行と結果確認		
			8. CAEを使ったノイズキャンセラー ・オートエンコーダ ・CNNでオートエンコーダ ・データの準備 ・議事ノイズデータ作成 ・CAE構築 ・学習の実行と結果確認		
			9. 自前データの学習(RNNで気温予測) ・入力データと出力データの成形 ・学習の実行と結果確認 ・実行結果についての解説		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

112 ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習(実践編)

実施日	10/11～10/12	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. データ分析の流れ ・データ分析の考え方 ・目標設定、仮説立案、 ・グラフの種類と活用方法	
ITSS:	2-4			2. 売上データ分析 ◆演習問題 ・使用するデータ: 食料品購入アプリの売上データ ・分析内容: どの商品がリピート購入につながり易いか	
●カリキュラムの概要			3. 顧客満足度分析 ◆演習問題 ・使用するデータ: 航空会社の顧客満足度調査データ ・分析内容: どの項目が満足度に影響を与えているか		
PCを用いたハンズオン研修です。 本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、より実践的な複数の事例のデータ分析を演習により学びます。 演習では、データ分析コンテストサイト「Kaggle」から取得した実際のデータを用いて分析を行います。 現実のデータに基づいた実践的なデータ分析を体験することで、ビジネスの現場で活用できるデータ分析力を身に付けます。 本講座は、講座No.109「ビジネスの現場で使えるPythonデータ分析演習」を受講済みの方、及び、講座No.109のカリキュラムに沿ったスキルを習得済みの方のみご受講頂けます。			4. ダイレクトメール反応分析 ◆演習問題 ・使用するデータ: ダイレクトメールの送信結果データ ・分析内容: もっとも反応のよくなる属性は何か		
●到達目標					
1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること 2. 様々な分析手法を駆使したデータ分析を行えること					

113 Javaで習得！オブジェクト指向入門 ～Java・UML・Eclipseの基礎からデザインパターンまで～

実施日	10/25～10/27	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	70,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～17:30	総時間数:	21時間	1. クラスとインスタンス ・クラス構成要素 (Eclipseを使用)	
ITSS:	1-3			2. staticとは ・クラス付メソッド、フィールド ・インスタンス付との違い	
●カリキュラムの概要			3. UMLとは ・UMLとは何か ・クラス図の書き方 (astahツールを使用)		
オブジェクト指向言語なら共通して使える設計思想であるデザインパターンのうち、主要な5個ほどを実際にJavaコーディングして身につけます。 デザインパターンを説明する際に使用するUMLクラス図なども基礎から学びます。利用するツールEclipseについて経験のないC#、C++技術者でも受講可能です。			4. カプセル化とJavaBeans ・public ・private ・protected ・セッター・ゲッターを付ける理由		
●到達目標			5. 継承、インターフェース ・継承 ・インターフェース		
・オブジェクト指向と主要なデザインパターンを、設計の用途に合わせて使用できる			6. ポリモーフィズムを理解する ・ポリモーフィズムとは何か		
			7. デザインパターン ・シングルトン ・テンプレートメソッド ・アダプター等		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

114 《オンライン》IT技術者のためのRPA入門

実施日	1/12～1/13	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	1. RPAの概要 【講義】 (1) RPAとは何か／何が出来るのか (2) RPAの沿革とその進化 (3) RPAの市場動向 (4)働き方改革とPRA	
ITSS	2-3	2. 周辺技術との類似点と相違点 【講義】 (1) RPAとVBA (2) RPAとRDA (3) RPAとAI			
●カリキュラムの概要			3. RPAの導入事例 【講義】 (1) オフィス内事務処理の効率化事例 (2) 営業・顧客管理での活用事例 (3) システム運用での活用事例		
今、注目されているRPA (Robotic Process Automation)がどのような業務で活用されているのか、具体的な導入事例の解説により、対象となる業務プロセスのイメージを広げていきます。			4. 代表的なRPAツール 【講義・演習】 (1) RPAツールの分類 ・PC型 ・サーバー型 ・クラウド型 (2) RPAツールの一覧とその特徴比較 (3) WinActor／BizRobo! ・RPAフリー版 ・トライアル版など		
さらに、実際の業務適用を検討することにより、PRA導入検討時のポイントを学習します。			5. RPAの業務への適用検討 【講義・演習】 (1) 対象業務を選択する (2) 対象業務の自動化を検討する (3) インプットとアウトプットを考える (4) シナリオ開発と確認 ※上記について以下の流れで運営 個人検討→グループワーク→クラス共有		
●到達目標			6. RPA導入に向けたコンサルティングの視点 【講義】 (1) 業務プロセスを捉える視点 (2) 業務間の連携による合理化の視点 (3) 新たな付加価値を創り出す視点		
1. RPAを取り巻く動向とその特徴を説明できる			7. RPAの今後の進化予測 【講義】 (1) AIとの連携 (2) ARとの連携 など		
2. RPAの技術と効果について説明できる			◎質疑応答／総まとめ		
3. RPA導入の検討と支援ができる					

115 《オンライン》Pythonで学ぶ機械学習

FISA04

実施日	2/1～2/3	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	63,000円(会 員) 70,000円(非会員)
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～17:30	総時間数	21時間	1. AIと機械学習の基礎 (1) AIと機械学習とは (2) 機械学習で解決可能な問題 (3) 教師あり学習/教師なし学習 (4) 機械学習の流れ	
ITSS	1-3	2. Python基礎 (1) Jupyter Notebookとは (2) Pythonの基本ルール (3) 変数、データ型、演算子、関数 (4) リスト、辞書、タプル (5) 条件分岐、繰り返し、内包表記			
●カリキュラムの概要			3. Pythonによるデータ操作 (1) 主要なライブラリ Numpy, pandas, scikit-learn, matplotlib, seaborn (2) CSVファイルからデータの読み込み (3) データの抽出、集計、計算 (4) データの可視化		
本講座ではオープンソースのプログラミング言語「Python」を用いて、主要な機械学習手法を一通り学びます。			4. 機械学習の流れ (1) 訓練データとテストデータに分ける (2) データを観察する (3) モデルを作る (4) 予測を行う (5) モデルを評価する		
これから機械学習やAIに取り組みたいと思っている方に最適な機械学習入門講座です。			5. 教師あり学習 (1) 教師あり学習の概要 (2) k-最近傍法 (3) 線形モデル(線形回帰、リッジ回帰) (4) ナイーブベイズクラス分類器 (5) 決定木 (6) ランダムフォレスト (7) 勾配ブースティング (8) サポートベクターマシン(SVM) (9) ニューラルネットワーク(ディープラーニング)		
●到達目標			6. 教師なし学習 (1) 教師なし学習の概要 (2) 主成分分析(PCA) (3) 非負値行列因子分解(NMF) (4) 多様体学習(t-SNE) (5) クラスタリング k-means、凝集型、階層型、DBSCAN		
1. Pythonのプログラミング基礎を習得すること			7. クラウドサービス活用 (1) クラウドサービス概要 (2) Amazon SageMaker (3) Amazon Forecast (4) Amazon Rekognition (5) Amazon Polly (6) Amazon Transcribe		
2. Pythonによる様々な機械分析手法の概要を理解すること					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

IT技術コース:アプリケーション

116 《オンライン》レスポンスWeb入門研修 ～マルチデバイスに対応したサイト制作～

FISA05

NEW

実施日	2/9～2/10	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円(会 員) 55,000円(非会員)
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. マルチデバイス対応の為の様々な分析 ・Webマーケティング分析 ・カスタマージャーニ分析 ・マルチデバイス対応比較	
ITSS:	1-2	2. レスポンスWebデザインの基礎知識 ・Webデザインとは? ・Webページの構成と構造 ・Webデザインの色彩の基礎知識			
●カリキュラムの概要				3. レスポンスWebデザインの応用知識 3つの技術的要素とは? ・メディアクエリ ・フルードグリッド ・フルードイメージ	
スマホをはじめとしたマルチデバイスに対応したサイトを制作したい方の向けの講座です。 基礎からコーディング、サイトテスト方法までの一連の流れとグループ演習を通してレスポンスWebデザインの制作方法を習得します。				4. Bootstrapの基礎知識 ・Bootstrapとは? ・Bootstrapの概要 ・Bootstrapの環境準備	
●到達目標				5. Bootstrapの使い方 ・レイアウト ・基本的なスタイリング(見出し、画像、テーブルなど) ・フォーム、ボタン	
1. Bootstrapを使用して、HTML5/CSS3基礎 ～基本コーディング～テスト方法までを習得する				6. レスポンスWebデザインサイト制作 ・Webページを各コンテンツごとに制作 ・ヘッダーのデザイン、制作 ・グローバルナビゲーションのデザイン、制作 ・コンテンツエリアのデザイン、制作 ・フッターのデザイン、制作	
2. Bootstrapを使用して、HTML5/CSS3をベースに1ソースで すべてのデバイス(スマートフォン・タブレット・PC)向けに デザインとサイト設計ができる				7. サイトのテスト方法 ・Webサイトテスト方法	
3. グループ作業でレスポンスWebデザインサイト設計→制作 →発表までを経験する				8. レスポンスWeb ・グループ作業にて設計→制作→発表	

ビジネススキルコース:戦略立案・ビジネスアナリシス

117 生産性を上げるタイムマネジメント研修

実施日	8/5	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	6時間	1. タイムマネジメントが必要な理由 ・「働き方改革」に求められる生産性向上とは ・「長時間労働」から「効率的業務」へ ・事例:なぜ時間が足りないのか ・自身の仕事の洗い出し【演習】	
ITSS:	1-3	2. タイムマネジメントの基本 ・仕事に優先順位を付ける ・やらないことを決める【演習】 ・消費時間分析による問題発見【演習】 ・インプット対アウトプット～所要時間の見積り			
●カリキュラムの概要				3. プロセスの改善 ・プランニングとスケジューリングで設計する ・自分で完結する業務と他者に依頼する業務を調整 ・プロジェクトでのチェック項目【演習】 ・ガントチャートの作成とクリティカルパスの短縮化【演習】	
昨今の厳しい経済環境下、限られた人員と時間、資源の中で高い生産性を出すことを求められています。 重要な事柄にフォーカスするためには、何を判断軸にどのような行動を選択するのかにかかっています。 効率的に業務を進めていくためのタイムマネジメントスキルを学び、「プロセス」「時間の使い方」「コミュニケーション」など、自部署や個々のメンバーの課題と改善策を明らかにし、具体的な行動の計画と実践を促進します。				4. チーム内コミュニケーション ・情報が共有できるチームへ ・会議を変える【演習】 ・コミュニケーションの三原則UPA(理解・提案・合意) ・中断や妨害対策・他者への依頼	
●到達目標				5. まとめ ・自己改善プランの作成【演習】	
1. 業務の効率化・スピード化を促進し、生産性を向上する タイムマネジメントの基礎を学ぶ					
2. 自身の仕事の洗い出しを行い、日々の時間の使い方の 傾向を把握する					
3. タイムマネジメントの具体的な時間管理の考え方と進め方を 身につける					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース: 戦略立案・ビジネスアナリシス

118 《オンライン》顧客の心をつかむITソリューション提案の実践

実施日	11/9～11/10	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	1. IT提案で考えるポイント【講義】 (1)IT提案とは (2)IT提案のスタイル	
ITSS	2-4	2. 仮説検証型提案のアプローチの全体像【講義】 (1)提案の付加価値を高める (2)「付加価値を高める提案アプローチ			
●カリキュラムの概要			3. [アプローチ①]提案活動のキッカケ【講義・演習】 (1)キッカケにいかにかにアンテナをはるか (2)「RFPから提案を作るには」		
顧客の真のニーズを見つけ出し、顧客の心をつかむITソリューションを提示する方法を学習します。 「顧客に関する情報収集の仕方」、「顧客との接触の仕方」、「顧客ニーズの引き出し方」、「顧客が真に望む解決案の提示」といったスキルを習得します。 仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付けます。			4. [アプローチ②]顧客情報の収集・分析 (1)情報収集の方向性 (2)顧客情報の収集 (3)収集した情報を分析する (4)よくある情報化の課題を知る		
●到達目標			5. [アプローチ③]仮説を立てる【講義】 (1)SWOT分析から仮説を導き出す (2)収集と発散で仮説を作る		
仮説・検証提案一連のプロセスを知り、顧客が真に望むソリューションを提示するノウハウを身に付ける			6. 仮説構築演習【演習】 ・事例問題に従い、RFP等から情報を収集し提案の仮説を構築する		
			7. [アプローチ④]顧客訪問【講義・演習】 (1)ヒアリングに関する準備 (2)ヒアリングの実施手順 (3)コミュニケーションを考える		
			8. [アプローチ⑤]顧客ニーズの確定【講義】 (1)ヒアリング結果で仮説を検証 (2)経営を変える情報活用手法 (3)論理的に話を組み立てる		
			9. [アプローチ⑥]提案骨子の作成【講義】 (1)提案骨子で決めること (2)提案書の作成へ (3)提案骨子作成演習【演習】		

ビジネススキルコース: 問題解決・思考方法

119 「ロジカル×ラテラル」シンキング研修

NEW

実施日	7/20	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	6時間	1. ロジカルシンキングとは (1)俯瞰して分類・構造化・掘り下げる (2)意思決定を円滑にし説得力を持たせるための使い方 (3)MECEなフレームワーク ・ピラミッドストラクチャー ・帰納法 ・演繹法 (4)重要な要因に焦点を当て優先順位をつける (5)結論から伝える「結論ファースト・ポイントスリー」法 (6)論理的でわかりやすい文章	
ITSS	-	2. ラテラルシンキングとは (1)思考の壁を取り払い選択肢・可能性を拡大する (2)質より量をまず優先する (3)視野を広げるためにできること (4)直感を大切に、違和感を楽しみ、ツール活用でアイデアを創出 ・ブレインストーミング ・SCAMPER ・マンダラート(EXCURTION) ・月イチワンダリング ・マインドマップ			
●カリキュラムの概要			3. ロジカル×ラテラルシンキング (1)全脳を使うアナログ&デジタルワーク (2)ロジカル×ラテラルで仕事がスピードアップする ・身近な問題を解決する ・問題を論理的にとらえ、そして直感的思考で展開する (3)量から質へ ・ブレインストーミング×ロジカルシンキング		
ロジカル・シンキングは、論理を積み重ね考えを整理する思考法で、問題解決の原因特定や解決策立案に効果的な思考プロセスです。 一方、ラテラル・シンキングは、直感を大切にし、規制の理論や概念にとらわれずアイデアを生み出す方法であり、イノベーションには欠かせません。 ビジネスパーソンにはどちらの思考も必要です。論理的思考と直感的思考(自由思考)を鍛えることで「考える力」を養い、ビジネスに直結する新しい発想・アイデア・企画・提案ができる力を高めます。			4. 総合演習 (1)製品開発or新サービスにトライ ・ゼロからアイデアを生み出そう ・アイデアを創造する ・アイデアを絞り込む ・アイデアを形にする		
●到達目標					
1. 物事を論理的に深く掘り下げ、突き詰めていく思考を身に付ける					
2. 物事を自由な発想でとらえ、広がりを持って思考する直感力を養う					
3. 新しい発想やアイデアで、さまざまな企画提案や問題解決をスムーズに進めることができるようになる					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース: 問題解決・思考方法

120 アイデアの発想展開法

実施日	10/13～10/14	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション【講義】	
ITSS:	2-4	1. アイデアを出すとはどういうことか【講義】 (1) アイデアを出すとはどういうこと? (2) アイデア発想法を俯瞰する			
●カリキュラムの概要			2. 必要な情報を収集する【講義】 (1) 自分で情報に気付いて収集する (2) 誰かから情報を提供してもらう		
ビジネスでは企画、提案、改善など自らの頭をひねってアイデアを出さないといけない場面が多々あります。しかし、ただ頭をひねっていてもアイデアはなかなか出てこないことが多いです。			3. 発想を展開してアイデアを広げる【演習】 (1) 自由発想法 ・ブレインストーミング ・ブレインライティング ・マインドマップ		
アイデアをひねり出すには様々なツールがあります。そのツールを体験しながら、自分のアイデアをまとめるにはどうしたらよいかを考えます。			(2) 強制発想法 ・マンダラ ・オズボーンのチェックリスト ・SCAMPER法		
アイデアを出す(ブレインストーミング、マインドマップなど)、アイデアをまとめる(KJ法、図解など)を伝えます。			(3) 類似発想法 ・シネクティクス法 ・NM法		
●到達目標			4. 論理的に情報を整理する【講義・演習】 (1) 情報をグループでまとめるには (2) ロジックツリーと問題解決 (3) 論理ピラミッドで情報を整理		
1. アイデアを出すためのツールを使用できる			5. 結論に向けて発想の収束を行う【講義・演習】 (1) 結論への収束を助けるKJ法 (2) 図解を利用して考えをまとめる (3) フレームワークを活用して収束		
2. アイデアをまとめる(整理する)ためのツールを使用することができる			6. 総合演習【演習】 ◎総まとめ【講義】		

121 《オンライン》システム開発におけるレビュー技法～ミーティング時間の短縮とより重大な欠陥を見つけるために～

実施日	11/24～11/25	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション	
ITSS:	-	1. システム開発の現状とレビューの関係【講義・演習】 (1) システム開発の現状とレビューの関係 (2) システム開発の「見える化」とレビュー (3) プロセスレビューでの「見える化」ポイント			
●カリキュラムの概要			2. レビュー技法の種類と概要【講義・演習】 (1) プロダクトレビュー実施におけるポイント (2) レビュー技法の種類と概要 (3) なぜ、レビューはされないのか (4) レビューに関するディスカッション		
プログラムの構造設計・開発工程において、プロジェクトチームとして効率的に機能するためのレビュー技法について、基本的な技術(レビューの心得、レビューの進め方など)を学習します。			3. インспекションの概要【講義・演習】 (1) インспекションの概要 (2) インспекションプロセス		
1日目目の目標は「レビューの視点を知る」ということで、様々なレビューの種類を学び、どのような視点でレビューを行うかを学びます。			4. インспекションプロセス【講義・演習】 (1) インспекションプロセス ・計画 ・準備 ・修正、フォローアップ ・概要説明 ・ミーティング		
2日目目の目標は「レビューの技法を知る」ということで、インспекションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの仕方を学びます。			(2) インспекションデータの分析・評価		
よりレビュー効果の高い、上流工程におけるレビューを意識したカリキュラムになっています。			5. レビュー【講義・演習】 (1) レビュー促進するには (2) 職場でのレビューの必要性 (3) 職場の現状と課題を考える		
●到達目標			◎総まとめ		
1. 様々なレビューの種類の違い、どのような視点でレビューを行うかの視点を習得する					
2. インспекションのプロセスを通じて効率的、効果的なレビューの技法を習得する					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:問題解決・思考方法

122 《オンライン》信頼されるSEに求められ問題解決スキル

実施日	1/23～1/24	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション 1. 講座の狙い【講義】 2. 問題と【講義】 ～問題がないことは問題か?～ ～2種類の問題とは?～ 3. ファシリテーションとは?【演習】 ～ファシリテーターの4つの役割～ 4. 問題解決の全体像【演習】 ～問題解決のステップとは?～ 5. テーマ選択【演習】 ～選択基準の鉄則とは?～ 6. 現状把握【演習】 ～現状把握に役立つツール～ 7. 目標設定【演習】 ～目的と目標はどう違う?～ 8. 要因解析【講義】 ～要因解析に役立つツール～ 9. 要因解析 ケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション ・要因解析を受け 発表 10. 対策立案【講義】 ～ロジックツリーの使い方は?～ ～対策立案に役立つ9つの質問～ 11. 対策立案のケース解説【演習】 ・個人作業→グループディスカッション ・グループディスカッションの続き → 発表 12. 効果の確認【講義】 ・効果の確認 ・再発防止と課題 ・歯止め策 ・今後の進め方 13. A3用紙1枚へのまとめ方【演習】 ・コンテストによる最優秀者の選出 ・他者フィードバック ・講師フィードバック	
ITSS:	2-3				
●カリキュラムの概要					
<p>某自動車メーカーで使われる問題解決のスキル、すなわち、問題発見、真因追求、解決策立案のスキルとそれらをA3一枚にまとめて、ストーリー立てた説明により周囲を動かすスキルを理論と実践を通じて身につけます。</p> <p>問題解決でも、“モノ”の問題と“人や組織”の問題では扱い方が違います。本研修ではIT現場に多い人や組織の問題を主として扱います。</p> <p>参加者自身の問題・課題を扱いながらグループディスカッションを繰り返すことによりファシリテーション能力を向上させるとともに、他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。</p>					
●到達目標					
<p>1. 問題の発生を未然に予測し、行動することができる</p> <p>2. 問題が発生した場合でも、問題を冷静に分析し、効果的な対策が打ち出せる</p> <p>3. 対策の効果とそのコストをA3用紙1枚で説明し、関係者が納得できる現実的な対策を提案できる</p>					

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

123 デジタル(DX)時代の事例から学ぶビジネス価値提案

NEW

実施日	7/12～7/13	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. デジタルトランスフォーメーション(DX)時代の価値を考える ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル ◆顧客視点からビジネス上の価値を考える ◆事例からビジネスモデルを考える(デジタル事例の紹介)	
ITSS:	2-3	2. ステークホルダーと価値の分析 [ステークホルダーの価値分析] <実践ワークショップ: カスタマージャーニーマップ 作成(ワークショップ) >			
●カリキュラムの概要			3. 超上流工程の考え方(案件・プロジェクト企画) ◆ポートフォリオ・プログラム・プロジェクト ◆プロジェクトマネジメント ◆デザイン思考的発想 ～未知へのチャレンジプロジェクト ◆IT組織としての方向性・データからの価値創出		
<p>デジタル時代において、プロジェクト以前にビジネスモデルから変革することが求められる時代に、顧客(ユーザ部門)とともに、新しいビジネスモデルを構想することをITのエンジニアたちにも求められています。</p> <p>働き方改革が、なかなか「改善」の域から出られないように、本質的な課題に向き合う必要があります。</p> <p>そうしたビジネスモデルの価値を考えることから、ビジネスの本質に迫る発想と、見える化するスキルを習得するコースです。</p> <p>PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。</p> <p>教育サブ・カテゴリ: technical 2.0 Leadership 4.0 Business and Strategic 6.0</p>			4. ビジネスモデルの見える化 ◆ビジネスモデルの分析 ◆複数テーマの分析(優先度、変更管理) ◆エンタープライズアナリシス <実践ワークショップ:[価値の分析]ビジネスモデル・キャンパス バリュープロポジション・キャンパス作成>		
●到達目標					
<p>・DX(デジタルトランスフォーメーション)の時代に必要とされる「顧客に寄り添うビジネス価値提案」ができるようになる</p> <p>・イノベーションを起こすプロジェクト企画時に、ビジネスモデルと必要な要素を含んだプランが作成できるようになる</p>					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

124 デジタル時代の変化に対応するプロジェクトマネジメント～プロジェクトマネジメントの(ウォーターフォールからの)アジャイルシフト～

NEW

実施日	8/23～8/24	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. DX時代のITサービス ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル	
ITSS:	2-3			2. DX時代のプロジェクトマネジメント ◆オンラインでのプロジェクトマネジメント ◆DX時代のプロジェクトマネジメント～ PMBOKの動向	
●カリキュラムの概要			3. アジャイルプロジェクトの進め方 (PMBOKの誤解・アジャイルの誤解) ◆アジャイルプロジェクトとは ◆アジャイル・プロジェクトマネジメント ～ scrumの概要		
デジタル時代における価値創造、ビジネススピードに合わせて、いまや「変化への対応」を要求される時代です。そのビジネスは、プロジェクトマネジメントが成功の鍵を握っています。			4. 状況に応じたイイトコ取り ◆DevOps～プロダクトマネジメントとプロジェクトマネジメント ◆エンタープライズアジャイルの動向 ◆アジャイルプロジェクトの進め方 ◆さまざまなツール 【ワークショップ】 ・プランニング・ポーカー ・タスクかんぱん ・バーンダウンチャートなど		
そこで、既存のウォーターフォールとPMBOKという枠にとらわれず、必要に応じてアジャイルプロジェクトのエッセンスを取り入れ、自らがベストなアイデアでプロジェクトを推進するスキルを習得していただくコースです。			●まとめ		
PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。					
教育サブ・カテゴリー:technical 4.0 Leadership 4.0 Business and Strategic 4.0					
●到達目標			新規性の高いプロジェクトをアジャイルの要素を含めながら、アジャイルプロジェクトの注意点を理解して、自分たちに必要なプロジェクトを(テラーしながら)立案できるようになる		

125 デジタル時代のITプロジェクトにおける「エンゲージメント力」アップ・トレーニング

NEW

実施日	9/15～9/16	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	1. DX時代のITサービス ◆DX(デジタルトランスフォーメーション)時代のビジネスモデル	
ITSS:	2-3			2. DX時代のプロジェクトマネジメント ◆DX時代のプロジェクトマネジメント～ PMBOKの動向	
●カリキュラムの概要			3. パフォーマンス向上のためのエンゲージメント力 ◆プロジェクトにおけるエンゲージメントのマネジメントとは ◆相手を意識したビジネスコミュニケーション ＜実践:ショートケースメソッド①＞		
デジタル時代における価値創造、ビジネススピードに合わせて、いまや「変化への対応」を要求される時代です。現場のプロジェクトリーダー・マネージャは、プロジェクトの成功に向けて、ステークホルダの状況をつねに分析し、巻き込んでいくこと、いわゆる「人を動かすスキル」は益々重要性が高まります。実際は、目先の開発や運用業務に没頭してしまい、なかなか、その「巻き込み」のための人間関係を築くことができずにいることがあります。			4. 変化できる組織 ～心理的安全性 ◆ステークホルダのタイプ別分析例 ◆人間関係のリスクキャッチ		
そこで、実際にありそうなシーンでのショートケースを通して、具体的なシーンごとに「そのときどうするか」「そのときどう話すか」を考え、実務で使える瞬発力を高めるコースです。			5. 「エンゲージメント」マスターをめざして ◆炎上を起こすステークホルダ/無関心のステークホルダ ◆「エンゲージメント」マスターをめざして ＜実践:ショートケースメソッド② +ロールプレイ+振り返り＞		
PMP資格試験受験および資格保持のための時間認定証明を12時間支給します。また、本講座はPMIの「新CCRプログラム」に対応しています。					
教育サブ・カテゴリー:technical 2.0 Leadership 7.0 Business and Strategic 3.0					
●到達目標			・ショートケースの分析を通じて、ステークホルダの状況を分析し、ステークホルダを巻き込みながら、人間関係を巧く構築するスキルを習得できる		
			・具体的なショートケースを想定して、具体的な状況ごとの「巻き込み」を考慮し、そのシーンに応じたロールプレイしながら、コミュニケーションスキルを向上させる		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ビジネススキルコース:プロジェクトマネジメント

126 《オンライン》失敗しないプロジェクトのための段取り力 ～プロジェクトの立上げと計画立案のために～

実施日	12/22～12/23	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション【講義】 ・ノーミング・セッション	
ITSS:	2-3	1. プロジェクトマネジメントとは？【講義】 2. 日本人の得意な段取りについて【講義】 3. PMBOKの解説【講義／演習】 (1)「10の知識エリア」の実例 (2)PMBOK第7版の概要 (3)なぜ、プロジェクトは失敗するのか？ 4. プロジェクトの目的と目標【演習】 (1)プロジェクトの目的の確認 (2)プロジェクト目標の確認 (3)各プロジェクト発表 5. 段階的詳細化について【演習】 (1)WBSとは (2)なぜ、WBSを作るのか？ (3)WBS作成演習 (4)他者に仕事を割り当てるときの極意 (5)メンバーの参画意欲を高めつつ正確な期間・工数の見積もりをする方法 6. ネットワーク図【演習】 (1)ネットワーク図とは (2)ネットワーク図の作成 (3)納期短縮法 (4)バッファの扱い方 (5)資源平準化 7. リスクマネジメント【演習】 (1)2種類のリスク (2)リスクの察知能力を高める (3)どのリスクを対策すべきか？ (4)リスクを見込んでさらに強い計画を立てる ・全体発表と講師講評 8. 段取り力向上「5つの習慣」【講義】 ◎総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要					
<p>成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？本研修では、その答えの一つとして『段取り力』を取り上げます。</p> <p>プロジェクトマネジメントのデファクトスタンダードであるPMBOKも参考しつつITプロジェクト特有のテーマを重点的に解説することで、プロジェクトマネージャーとしての基本を学びます。</p> <p>同時に、研修参加者には、ファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。</p> <p>グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち12時間分を取得できます。(カテゴリB)また、2020年に変更される予定のPMBOK第7版にも触れていきます。</p>					
●到達目標					
<p>1. 問題の発生を未然に予測し、行動することができる</p> <p>2. 問題が発生した場合でも、問題を冷静に分析し、効果的な対策が打ち出せる</p> <p>3. 対策の効果とそのコストをA3用紙1枚で説明し、関係者が納得できる現実的な対策を提案できる</p>					

127 《オンライン》失敗しないプロジェクトのためのリスク先読み力 ～プロジェクトの最重要ポイント、見えない問題を予防する～

実施日	1/19～1/20	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	12時間	0. オリエンテーション【講義】 (1)ノーミング・セッション (2)グラウンド・ルール作り	
ITSS:	2-3	1. プロジェクト・マネジメントとは【演習】 ・プロジェクトマネジメントとは何か 2. ファシリテーションとは【講義】 (1)ファシリテーションの2つの目的 (2)みんなの意見は案外正しい 3. 日本人の苦手なリスクマネジメント【講義】 (1)なぜ、日本人はリスク音痴(?)に？ (2)リスクを取らないとどうなるか？ 4. EVMによるコントロール【演習】 (1)成功の鍵は定量管理 (3)練習問題 5. リスクマネジメントとは？【演習】 (1)リスクとは？ (2)基本用語と計算方法の確認 (3)リスクの優先順位付け (4)将来予測による先読み 6. リスク・マネジメントゲーム【演習】 (1)要求定義フェーズ (2)リスク管理の4ステップ (2)結合テストフェーズ (4)2つのリスク対策 ・個人／グループ演習・全体発表と講師講評 7. リスク登録簿を持ち帰る【演習】 (1)リスク登録簿の作成 ・プロジェクト目標・前提と制約条件 ・WBS簡易版・個人／グループ演習 ・全体発表と講師講評 ・全体発表と講師講評 8. 先読み力向上「5つの習慣」【講義】 ◎総まとめ ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要					
<p>成功率『52.8%』といわれている日本のITプロジェクト。失敗しないためにはどうしたらいいのか？本研修では、その答えの一つとして『リスク・マネジメント』を取り上げます。</p> <p>事例に極めて近いケースを用い、カードやサイコロを使いゲーム形式で楽しく学んでいただける内容です。</p> <p>また研修参加者にはファシリテーター役を担っていただくことで、各種会議のとりまとめ役を担う力を身につけます。</p> <p>グローバルスタンダードな資格である米国PMI認定のPMP資格を維持するための学習時間(60時間)のうち12時間分を取得できます。(カテゴリB)</p>					
●到達目標					
<p>1. 独力でリスク管理表が作成できる</p> <p>2. 独力で公共案件では必須となりつつあるEVMを使った進捗管理ができる</p> <p>3. リスク対策を一人5つ以上、現場の仕事に持ち帰る</p>					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

128 ファシリテーション力向上研修

実施日	8/26	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30~16:30	総時間数	6時間	1. ファシリテーションとは ・ファシリテーターの役割は何か ・ファシリテーションをするときの心構え ・ファシリテーターがやるべきこと ・ファシリテーションの4つの要素	
ITSS	-	2. 場の創出 ・目的を明確にする ・進め方(プロセス)、ルールを決める ・空間としての場を決める 【ワーク】ケースをもとに「場のデザイン」設定 ・目標を設定する ・役割分担を決める			
●カリキュラムの概要			3. 対人関係の構築 ・全員が発言するために ・質問スキル ・傾聴スキル ・介入スキル ・説明スキル		
会議運営・プロジェクト推進・課題解決に活用できるファシリテーションスキルを学びます。			4. 構造化の実行 ・主張を明確にする ・主張の全体像を把握する ・ホワイトボードを活用する 【ケーススタディ】 議論をホワイトボードを使ってわかりやすく整理する		
・ファシリテーターとしての役割を認識し、会議に向けての心構えを醸成する			5. 合意形成 ・合意形成手法 ・対立を恐れない ・独断からコンセンサスまで ・ベイオフ・マトリックスの活用		
・ファシリテーションスキルを習得し、生産性が高く、活性化を促す会議の進め方を学ぶ			6. ファシリテーション 総合演習 ・模擬会議 ・非協力的なメンバーへの対応		
・メンバーの建設的な意見を引き出し、拡散・収束・合意のプロセスを理解する			7. まとめ ・質疑応答 ・振り返り、今後の課題		
●到達目標					
1. 会議の実施背景や目的、目標を加味した事前準備ができる					
2. 参加者の意見や思いを引き出すための「傾聴」「介入」「観察」「質問」「発言」ができる					
3. 「短時間で結論を導き出す」ための要点を踏まえ、中立な立場として会議を進行することができる					
4. 的確に意見を集約し、参加者の合意形成を促すことができる					

129 活かすフォロワーシップ

実施日	10/20~10/21	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30~16:30	総時間数	12時間	◎オリエンテーション【講義】 ・チームが良い結果を出せない原因は？	
ITSS	2-3	1. フォロワーシップとは【演習】 (1)リーダーだけでチームはまとまらない (2)フォロワーシップとは (3)部下だからこそできること (4)フォロワーの5つのタイプ			
●カリキュラムの概要			2. フォロワーとしての心構え【講義】 (1)リーダーの立場と考え (2)リーダーが期待すること (3)完璧ではないリーダー リーダーのタイプとフォローのポイント (4)フォロワーの影響		
御社のプロジェクトではこのようなことはありませんか？ ・メンバーがリーダー、マネジャーの言うことをきかない ・メンバーがリーダー、マネジャーの指示待ち ・メンバー同士がバラバラ このような問題を解決する研修です。			3. 提言力【演習】 (1)分析力 (2)論理力 (3)課題分析演習 (4)提案力 上司へのコーチング (5)リーダーとの信頼構築		
組織として成果を出すには、リーダーが「リーダーシップ」を発揮するだけで十分とはいえません。組織を構成する各メンバーが、組織の目的を理解し、リーダーや他のメンバーと連携して動く「フォロワーシップ」を発揮することが必要不可欠です。			4. 貢献力【演習】 (1)報告・連絡・相談 (2)確認 (3)上司の力を引き出す (4)他のメンバーをまとめる (5)メンバーとの信頼構築 (6)自分のできることは何か？		
本研修では演習やディスカッションを通して、メンバーの視点からリーダーや自分自身の役割を見つめ直し、働きやすい環境をつくり、自らの能力を効率良く発揮するための思考特性、そして行動特性を習得します。			5. フォロワーとしての行動【演習】 (1)リーダーとのフォロワーの行動 (2)メンバーとのフォロワーの行動		
●到達目標			◎総まとめ【講義】 ・フォロワーとして		
働きやすい環境をつくりだすための動き方、ならびに自らの能力を発揮するための考え方を習得することで、自身およびメンバーの信頼を深めることができる					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:リーダーシップ

130 《オンライン》チームリーダーのための人に教える技術～自分で考えて動ける人材を育てる～

実施日	12/7～12/8	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	◎オリエンテーション【講義】	
ITSS	2-3	1. 「教える」とはどういうこと？【講義・演習】			
●カリキュラムの概要			(1)「教える」とはどういうこと？ (2)「教える」ときに発生する障害とは (3)「教える」ために学ぶこと 2. 教える前に行うべき準備とは【講義・演習】 (1)相手に教える前準備の「質問」 (2)自分を知り、相手を知って教える 3. 「知識を教える技術」を考える【講義】 (1)「教え方」についての誤解 (2)教え上手な「指示」の出し方 (3)基本的な学習モデルについて 4. 上手な「知識の教え方」を知る【講義・演習】 (1)仕事の全体像とつながりを見せる (2)相手に「正確」に伝える (3)知識を定着させる教え方 5. まずは「ちゃんとやりなさい」から抜け出す【講義・演習】 (1)一方的に話しては相手は納得できない (2)なぜ、何を学ぶのが曖昧では動けない (3)尊重の気持ちなしでは相手に届かない 6. 「意欲(モチベーション)」とは何か？【講義】 (1)モチベーションとは何か (2)モチベーションに関する理論 (3)メンバーのモチベーションを上げるには 7. 意欲を引き出す教え方とは【講義・演習】 (1)学ぶ場を楽しいと感じる雰囲気づくり (2)教える人の心構えと意識 (3)目標の達成をサポートする 8. メンバーの「行動」を変化させる教え方【講義】 (1)「教える」ことで「行動」を変化させる (2)「行動」を変化させる教え方 9. 相手の癖や性格で教え方に变化【講義・演習】 (1)「教え方」のブラッシュアップに向けて 10. 場面別のメンバーの教え方【講義・演習】 ◎総まとめ【講義】		
ITプロジェクトを成功に導くためには「自分で考えて動けるメンバー」が必須になっているといえます。そのためにコーチングなどの手法による「気付き」を重視する場面が増えています。 ただし、わからないことだらけの新人や、仕事がかたくなにこなせていないメンバーには、コーチングとともに、きめ細かく丁寧に教えるティーチングも必要になります。 つまり、「気づき」の元となる「知識」は教える必要があり、そのうえで、学ぶ意欲を高める「教え方」をすることが大切です。 この研修ではITプロジェクトを成功に導くための「自分で考えて動けるメンバー」を育てる「教え方」を様々な角度から学びます。					
●到達目標					
1. 「自分で考えて動ける人材」を育てるための「教え方」を身につける					
2. メンバーのやる気を引き出す「教え方」を身につける					

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

131 チームビルディング研修～メンバーがいきいきと成果を出せるチームを作る～

FISA01 **NEW**

実施日	7/28	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	会員 26,000円 非会員 29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時間	9:30～16:30	総時間数	12時間	1. 良いチーム、強い組織とは	
ITSS	2-3	(1)チームの定義 (2)参加者の課題の共有 (3)組織の発達段階と壁 (4)リーダー・マネージャーの真の役割 2. エンゲージメントとは (1)エンゲージメントの定義 (2)エンゲージメント向上のメリット (3)エンゲージメントを測定する 3. 目標設定と目標達成のスキル (1)会社のビジョンと現場の目標 (2)その目標、機能していますか？ (3)KGI, KPI, OKR 4. 会議を変えるファシリテーション (1)ファシリテーターの心構え (2)ファシリテーションの4つのスキル (3)心理的安全性を作る 5. 行動心理科学に基づくモチベーションマネジメント (1)人間の行動原理 (2)承認および指摘・指導のポイント (3)ロールプレイ 6. 今後に向けて (1)現場での実践計画(個人、組織) (2)発表、フィードバック			
●カリキュラムの概要					
チームビルディングの目的は「仲良しグループ」を作ることではありません。多様なメンバーが一つの目的に向かって力を発揮し「持続的に成果を出せるチーム」を作ることです。 しかし、多くのリーダー・マネージャーがそのスキルを持たないままチーム運営を任されるため、プロジェクトでトラブルが起きたり心身を病むメンバーが出たりする事例が絶えません。 研修では、業績や離職率との相関が証明されている「エンゲージメント」をテーマに、多くの中小企業の組織づくりを支援している講師から具体的な手法を学び、現場での実践へと繋がります。					
●到達目標					
1. チームビルディングの本質と自身の役割を理解している					
2. 成果を出せるチーム作りの手法を理解している					
3. 自身のチームにおいて実践する具体的な方策を描けている					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

132 ビジネスで活かす身体と心と脳・自分メンテナンスの重要性

FISA02

実施日	8/1	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	会 員 26,000円 非会員 29,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	6時間	1. 自分の体・心の状態を知る ・自分の体と向き合う(からだミーティング) ・自分の心をどうチェックするのか?	
ITSS:	-				
●カリキュラムの概要				2. メンタルヘルスケア ・リラクセスとリフレッシュの違い ・メンタルヘルスケア・ワーク ・脳の活性化ワーク	
五感を育み、感性をビジネスで活かす手法は、近年、スポーツ選手や海外でのビジネスには多く取り入れられています。				3. 自分メンテナンスの重要性 ・脳機能のしくみ ・自分で調整することの重要性	
まずは、自分の体・心の状態を知り、思考のクセを見つけ、自ら心身のケアで整えていくことを身につけます。				4. 自分と長けている五感を知る ・ポジティブフィードバックワーク ・自分分析・長けている五感はどれか ・各感性別特徴	
心身共にバランスの取れた軽快に動けるコミュニケーションを自ら考え行動する方法を学びます。				5. 五感マーケティング ・五感がどう影響するか ・なぜ今感性を活かしたコミュニケーションが有効なのか ・男女間での違い ・ケーススタディ	
●到達目標				6. 総合 ・まとめ・感想・質疑応答 ・受講生からのフィードバック ・講師からのコメント ・自分分析シートの記入	
1. 自分の体調に責任を持つ・自分メンテナンスについて理解する					
2. 自分の心・体を知り、感性を活かしたコミュニケーションを取れるようになる					

133 女性管理職(女性リーダー)育成研修～個性を認め 魅力あるチーム作りを目指して～

FISA03

実施日	8/3	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	会 員 26,000円 非会員 29,000円
●講座情報詳細				●カリキュラムの詳細	
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	6時間	1. 個性とは何か (1)個性を知る (2)チームで個性を活かすために	
ITSS:	-				
●カリキュラムの概要				2. リーダーの役割とは (1)チームにとってのリーダーとは (2)リーダーとしての存在意義	
女性の強みを活かしたチーム作りにおいて、これからの時代に必要な個性を知り、それぞれが活躍できるチーム力をアップさせるために必要なこと、女性リーダーとして、チーム内での在り方や、個々の意識の向上について必要な事を学びます。				3. 魅力あるチーム作りに必要なこと (1)目的意識 (2)チーム内での個々の意識	
●到達目標				4. 女性が働く職場としての環境作り (1)女性の身体とメンタル (2)仕事と家庭のバランス	
1. 自己の個性を知り、チームで個性を活かす事を学ぶ				5. 質疑応答、まとめ (1)質疑応答、まとめ	
2. リーダーとしての役割を理解する					
3. ワークライフバランスの実現を考える					

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

134 職員サポート研修～産休育休前後の職員サポートについて～

NEW

実施日	9/9	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	6時間	1. 産休・育休をめぐる現状 (1)IT業界の女性活躍の現状 (2)産休・育休により起こりがちな問題	
ITSS:	-	2. お互いを理解する (1)参加者の課題の共有 (2)課題の背景を考える			
●カリキュラムの概要			3. 円滑な取得・復帰のために (1)取得前、休業中の対応 (2)復帰後の対応		
IT業界でも女性正社員の割合が高まる中、産休・育休取得者は今後ますます増えることが予想されます。 産休・育休は、取得する方も現場に残る方も 何らかの不安や不満を抱えるもの。それが大きくなると、人間関係の悪化や休業前後の離職に繋がります。 そういった事態を防ぎ、復帰後にも元気に活躍してもらうためには、事前にお互いの立場や気持ちを理解し 対応策を考えておくことが必須です。 この講座の中では、自身も2度育休を取得して復帰した講師から、リアルな事例と円滑な順応のための対応策を学びます。			4. プランニング (1)現場での実践計画(個人、組織) (2)発表、フィードバック		
●到達目標			●カリキュラムの概要		
1. 現場で起こりがちな問題と背景が理解できている 2. 取得者と現場に残る側のお互いへの理解が進んでいる 3. 現場で実践する具体的な方策を描けている			1. 産休・育休をめぐる現状 (1)IT業界の女性活躍の現状 (2)産休・育休により起こりがちな問題		

135 目標管理研修～目標管理を効果的に進める手法～

NEW

実施日	9/14	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30～16:30	総時間数:	6時間	1. 目標管理を行う意義 (1)目標管理の目的 (2)目標管理を通じて管理職が行うポイント (3)目標管理を活用して、部下の指導育成を進める	
ITSS:	-	2. 目標管理の進め方 (1)全社方針・部門方針を軸にする (2)部下への目標の浸透 (3)日常のマネジメント行動につなげる			
●カリキュラムの概要			3. 目標設定のポイント (1)部門目標としっかり連動している (2)達成基準が明確化している (3)部下の目標を考える 【ワーク】自部署の役割を踏まえ、部下に求める行動は (4)管理項目を設定する 【ワーク】部下の目標管理を支援するKPIと目標管理の方法 (5)業務の進捗把握PDCA		
組織が存続し続けるためには、常に高い組織目標を持ち、その目標に沿った社員の行動の積み上げが必要です。管理職及びリーダーには、組織と部下の目標を適切に設定し、継続的に進捗管理・指導を行うことが求められます。 ①目標管理の意義 ②組織、部下の目標設定方法 ③部下が目標を前向きにとらえる動機づけ ④目標達成に向けた継続的なマネジメント方法 の4つのポイントを実践的な演習を通じて、具体的な行動に落とし込みます。 明日から使える目標管理スキルが身に付きます。			4. 目標管理面談 (1)コーチングの基礎スキル (2)目標設定の支援 ①GOAL(目標の明確化) ②REALITY(現状把握) ③RESOURCE(資源の発見) ④OPTIONS(選択肢の創造) ⑤WILL(意志の確認、計画の策定) (3)面談ロールプレイ		
●到達目標			5. 事例検討 【ワーク】面談ケースを考える ①新しいプロジェクトへの指名 ②否定、批判、あきらめの部下 ③振り返りが無い部下		
1. 目標管理の意義・重要性を理解し、適切な目標設定ができるようになる 2. 目標に対する適切な管理項目(KPI)が設定できるようになる 3. 部下育成のコーチングや面談の基礎スキルが身に付く			6. まとめ 行動プランの作成、質疑応答		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

ヒューマンスキルコース:コミュニケーション・その他

136 部下のモチベーションを引き出す 1on1 コーチング

NEW

実施日	10/17	日数	1日間	受講料 (税別・テキスト代込)	29,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	6時間	1. モチベーションにまつわる課題 (1)参加者の課題の共有 (2)多くのリーダーが抱える悩み	
ITSS:	-	2. モチベーションの本質 (1)モチベーションとは (2)モチベーション低下の原因と弊害 (3)モチベーションとエンゲージメント (4)部下のモチベーションを把握する			
●カリキュラムの概要			3. 1on1におけるコーチングスキル (1)1on1が機能する前提条件 (2)コーチングの基本スキル(傾聴、質問、フィードバック) (3)目的設定 (4)ロールプレイ		
ITプロジェクトや保守管理業務には すぐにわかりやすい成果が出ないのも多く、メンバーのモチベーションをいかに保つかに苦戦している上司は少なくありません。 研修では、行動心理学に基づき、モチベーションを科学的に維持・向上させる方法を学びます。特に、1on1(個別面談)で活かせるコーチングスキルと、個々人の特性に合わせた関わりにフォーカスし、多様なメンバーに力を発揮してもらうスキルを体得することができます。 同じ課題感を抱える受講生同士でコミュニケーションをとりながら進める研修です。コーチングとキャリアコンサルティング、組織開発を手がける講師が事例を交えてお伝えします。			4. タイプ別コミュニケーション (1)代表的な特性診断 (2)気質で分類される4つのタイプ (3)それぞれに適した接し方		
●到達目標			5. 今後に向けて (1)現場での実践計画 (2)発表、フィードバック		
1. モチベーションの本質と自身の役割が理解できている 2. モチベーション低下の原因と、高める手法を理解している 3. 自身のチームで実践する具体的な方策を描けている					

137 IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～

実施日	10/18~10/19	日数	2日間	受講料 (税別・テキスト代込)	55,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	9:30~16:30	総時間数:	12時間	◎オリエンテーション【講義】 ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション	
ITSS:	1-2	1. ロジカルコミュニケーション【講義】 (1)論理とは (2)論理の基本形			
●カリキュラムの概要			2. 誰でもできる、ロジカルシンキング【講義・演習】 (1)ロジカルの4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック		
IT人材に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。 各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々との交流でき、楽しく身に付けることができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			3. より強固なロジカルシンキング【講義・演習】 (1)why so? So What? (3)ストーリー性 (2)MECE		
●到達目標			4. プレゼンテーション【講義】 (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン		
1. 独力でロジカルに考えることができる 2. 独力でプレゼンテーションのプランが立てられる 3. 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる			5. プレゼンテーションの導入【演習】 (1)自己紹介でつかむ (2)〇値法でつかむ (3)クイズ法でつかむ		
			6. プレゼンテーションの本論【演習】 (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン		
			7. 実践、プレゼンテーション企画【演習】 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック		
			8. プレゼンテーションの実践【演習】 ・個別発表 -VTRに収録- ・講師コメント		
			◎総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

オンライン共同研修 ※他企業(株式会社 北海道ソフトウェア技術開発機構 等)の受講者も一緒に受講する場合があります。

300 《オンライン》IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～

実施日	7/19～7/21	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か? ・論理性とコミュニケーション	
ITSS:	-	1. ロジカルコミュニケーション【講義】 (1) 論理とは (2) 論理の基本形 2. 誰でもできる、ロジカルシンキング【講義・演習】 (1) ロジカルの4ステップ (2) 個人ワーク (3) G内発表とフィードバック 3. より強固なロジカルシンキング【講義・演習】 (1) why so? So What? (2) MECE (3) ストーリー性 4. プレゼンテーション【講義】 (1) なぜ、プレゼンが必要か? (3) 論理的なプレゼン (2) プレゼンテーションの3Cとは? 5. プレゼンテーションの導入【演習】 (1) 自己紹介でつかむ (2) ○値法でつかむ (3) クイズ法でつかむ 6. プレゼンテーションの本論【演習】 (1) なぜ、プレゼンが必要か? (3) 論理的なプレゼン (2) プレゼンテーションの3Cとは? 7. 実践、プレゼンテーション企画【演習】 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック 8. プレゼンテーションの実践【演習】 ・個別発表 -VTRに収録- ・講師コメント 9. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針			
●カリキュラムの概要			●到達目標		
IT人財に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。 各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々との交流でき、楽しく身に付けることができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			1. 独力でロジカルに考えることができる 2. 独力でプレゼンテーションのプランが立てられる 3. 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる		

301 《オンライン》IT技術者のためのリーダーシップ ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～

NEW

実施日	8/22～8/24	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・IT業界とリーダーシップ	
ITSS:	1-2	1. リーダーシップとは【講義】 ・3つのキーワードで理解するリーダーシップ ・あなたはどちら? リーダーシップ型? マネジメント型? ・ビジョンの提示 ・人々の力を引き出す ・変革の実現 2. 部下・後輩育成のためのコーチング【講義】 ・6つの質問の使い分け、 ・コーチングの4つのコツ ・コーチングとティーチングの使い分け 3. コーチングロールプレイ【講義】 ・目標の明確化とは? ・問題を認識するには? ・創造的な解決策の創出には? ・アクションプランの与え方 4. 自己のリーダーシップスタイルを知る【講義・演習】 ・リーダーシップチェックテスト 5. ファシリテーションとは【講義・演習】 ・ファシリテーションの2つの目的 ・リーダーの役割理解促進演習 6. リーダーシップとマネジメントの違い【演習】 ・自己のリーダーシップマネジメント発揮度 ・判定演習、フィードバック 7. ビジョンの策定【演習】 ・ビジョンの重要性 ・分析が先か? 目標が先か? ・ビジョンの事例 8. ビジョン策定演習【講義・演習】 ・スキルの3分類 ・良いビジョンとは ・SWOT分析との関係 ・個別発表 ・受講者からのフィードバック ・講師コメント 9. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針 「自己の強みを生かしたリーダーシップのあり方」			
●カリキュラムの概要			●到達目標		
IT人財に必要な不可欠な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。 実際の事例を使った様々なロールプレイ、ディスカッション等により参加者の方々との交流でき、コンピテンシー(高業績者の行動特性)を学びあうことができます。 講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			1. リーダーシップとは何か、リーダーの振るまいが理解できる 2. 部下、後輩育成が自分一人で実施できるようになる 3. 自己の目指すべきリーダー像が文章で明確化され、文章化される		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

オンライン共同研修 ※他企業(株式会社 北海道ソフトウェア技術開発機構 等)の受講者と一緒に受講する場合があります。

302 《オンライン》IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～

NEW

実施日	9/20～9/22	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・IT業界とネゴシエーション	
ITSS:	-	1. ネゴシエーションにおける3類型【講義】 ・セルフチェックテスト ・交渉ゲームによる確認 ・交渉を好きになるには？			
●カリキュラムの概要			2. ネゴシエーションの基本【講義】 ・ネゴシエーションで最も重要なこと ・ネゴシエーションの5プロセス ・論理と心理の活用 ・逆提案と妥協のスキル		
研修受講者が業務で経験する実際の交渉事例(クレーム対応、トラブル対応、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につながる)を元にネゴシエーションスキルを理論と実践により身につけます。			3. 交渉を問題解決に変えるには？【講義・演習】 ・ロールプレイ		
実際の事例を使った ネゴシエーションゲームやロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。			4. パイをふくらませる交渉とは？【講義・演習】 ・個人、グループワーク、発表、解説、ふりかえり		
●到達目標			5. 事例研究Ⅰ(演習)【演習】 仕様変更、クレームの対処等ユーザーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ(3～4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック		
1. 交渉が今までよりも好きになる			6. 事例研究Ⅱ(演習)【演習】 仕様変更、クレームの対処等ベンダーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ(3～4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック		
2. 顧客への簡単な提案が出来るようになる			7. 応酬話法集のまとめ【講義】		
3. 自分一人で利害関係者との調整ができるようになる			8. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針		

303 《オンライン》IT技術者のためのコミュニケーション ～「論理的」で「伝わる」意思伝達の方法～

実施日	11/28～11/30	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・ITスキル標準におけるコミュニケーションの位置づけ ・コミュニケーションとは ・なぜ、コミュニケーションが重要か？ ・論理性とコミュニケーション	
ITSS:	1-2	1. ロジカルコミュニケーション【講義】 (1)論理とは (2)論理の基本形			
●カリキュラムの概要			2. 誰でもできる、ロジカルシンキング【講義・演習】 (1)ロジカル4ステップ (2)個人ワーク (3)G内発表とフィードバック		
IT人材に必要な不可欠な論理的に考えるスキル、口頭表現のスキル、文章作成のスキル等を理論と実践を通じて身につけます。			3. より強固なロジカルシンキング【講義・演習】 (1)why so? So What? (2)MECE (3)ストーリー性		
各種チャレンジやプレゼンコンテスト、等により参加者の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。			4. プレゼンテーション【講義】 (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン		
講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			5. プレゼンテーションの導入【演習】 (1)自己紹介でつかむ (2)〇値法でつかむ (3)クイズ法でつかむ		
●到達目標			6. プレゼンテーションの本論【演習】 (1)なぜ、プレゼンが必要か？ (2)プレゼンテーションの3Cとは？ (3)論理的なプレゼン		
1. 独力でロジカルに考えることができる			7. 実践、プレゼンテーション企画【演習】 ・実際の仕事を題材にして、プレゼンテーションプランを練る ・ドキュメント作成 ・講師からの個別指導 ・リハーサルと相互フィードバック		
2. 独力でプレゼンテーションのプランが立てられる			8. プレゼンテーションの実践【演習】 ・個別発表 -VTRに収録- ・講師コメント		
3. 他者と協力してプレゼンテーションが実施できる			9. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針		

【2022年度 一般研修 カリキュラム内容】

オンライン共同研修 ※他企業(株式会社 北海道ソフトウェア技術開発機構 等)の受講者も一緒に受講する場合があります。

304 《オンライン》IT技術者のためのリーダーシップ ～部下育成、動機付け、方針提示について学ぶ～

NEW

実施日	12/14～12/16	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・IT業界とリーダーシップ	
ITSS:	-	1. リーダーシップとは【講義】 ・3つのキーワードで理解するリーダーシップ ・あなたはどちら？リーダーシップ型？マネジメント型？ ・ビジョンの提示 ・人々の力を引き出す ・変革の実現			
●カリキュラムの概要			2. 部下・後輩育成のためのコーチング【講義】 ・6つの質問の使い分け、 ・コーチングとティーチングの使い分け ・コーチングの4つのコツ		
IT人財に必要な不可欠な部下育成のスキル、会議運営のスキル、ビジョン・目標設定のスキルを理論と実践により身につけます。			3. コーチングロールプレイ【講義】 ・目標の明確化とは？ ・創造的な解決策の創出には？ ・アクションプランの与え方 ・問題を認識するには？		
実際の事例を使った様々なロールプレイ、ディスカッション等により参加者の方々と交流でき、コンピテンシー(高業績者の行動特性)を学びあうことができます			4. 自己のリーダーシップスタイルを知る【講義・演習】 ・リーダーシップチェックテスト		
講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のコミュニケーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です			5. ファシリテーションとは【講義・演習】 ・ファシリテーションの2つの目的 ・リーダーの役割理解促進演習		
●到達目標			6. リーダーシップとマネジメントの違い【演習】 ・自己のリーダーシップマネジメント発揮度 ・判定演習、フィードバック		
1. リーダーシップとは何か、リーダーの振るまいが理解できる			7. ビジョンの策定【演習】 ・ビジョンの重要性 ・分析が先か？ 目標が先か？ ・ビジョンの事例		
2. 部下、後輩育成が自分一人で実施できるようになる			8. ビジョン策定演習【講義・演習】 ・スキルの3分類 ・良いビジョンとは ・SWOT分析との関係 ・個別発表 ・受講者からのフィードバック ・講師コメント		
3. 自己の目指すべきリーダー像が文章で明確化され、文章化される			9. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針 「自己の強みを生かしたリーダーシップのあり方」		

305 《オンライン》IT技術者のためのネゴシエーション ～社外・社内交渉をWin-Winにするために～

NEW

実施日	2/13～2/15	日数	3日間	受講料 (税別・テキスト代込)	50,000円
●講座情報詳細			●カリキュラムの詳細		
時 間:	13:00～17:00	総時間数:	12時間	0. はじめに【講義】 ・IT業界とネゴシエーション	
ITSS:	1-2	1. ネゴシエーションにおける3類型【講義】 ・セルフチェックテスト ・交渉ゲームによる確認 ・交渉を好きになるには？			
●カリキュラムの概要			2. ネゴシエーションの基本【講義】 ・ネゴシエーションで最も重要なこと ・ネゴシエーションの5プロセス ・論理と心理の活用 ・逆提案と妥協のスキル		
研修受講者が業務で経験する実際の交渉事例(クレーム対応、トラブル対応、新たな受注チャンスを見つけ、提案や営業活動につなぐなど)を元にネゴシエーションスキルを理論と実践により身につけます。			3. 交渉を問題解決に変えるには？【講義・演習】 ・ロールプレイ		
実際の事例を使った ネゴシエーションゲームやロールプレイにより他の方々と交流でき、楽しく身に付けることができます。			4. パイをふくらませる交渉とは？【講義・演習】 ・個人、グループワーク、発表、解説、ふりかえり		
講師、他者、ビデオ等様々なフィードバックにより自己のネゴシエーションの特性が把握でき、受講者が強みを生かし、弱みを意味のないものにする方策を自ら見いだしていける内容です。			5. 事例研究Ⅰ(演習)【演習】 仕様変更、クレームの対処等ユーザーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ(3～4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック		
●到達目標			6. 事例研究Ⅱ(演習)【演習】 仕様変更、クレームの対処等ベンダーの立場からのロールプレイ ・個人ワーク・グループワーク・ロールプレイ(3～4回繰り返し) ・解説・振り返り・フィードバック		
1. 交渉が今までよりも好きになる			7. 応酬話法集のまとめ【講義】		
2. 顧客への簡単な提案が出来るようになる			8. 総まとめ【講義】 ・自己成長のための指針		
3. 自分一人で利害関係者との調整ができるようになる					

【受講申込のご案内】

◆お申込み方法

- ・講座の受講お申し込みは、「個人情報の取り扱いについて」をご承諾の上、「受講申込書」(P.32添付)に必要事項をご記入頂き、FAXまたは弊社HP(<https://www.fsc-go.co.jp>)の「各種申込」⇒「Webでのお申し込みの方」よりお申し込み下さい。
- ・FISA会員様がFISA(一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修の受講お申し込みをされる場合は、弊社HP(<https://www.fsc-go.co.jp>)の「各種申込」⇒「FISAタイアップコース」⇒「申込方法」⇒「FISAタイアップ研修受講申込書(PDF)」より専用申込用紙をご準備頂き、必要事項をご記入後、FISA事務局へ郵便またはFAXにて直接お申し込み下さい。
- ・受講申込の受付は、定員になり次第締め切らせて頂きます。
- ・お申し込みが少ない場合は、やむを得ず中止とさせて頂く場合もございます。予めご了承下さい。
- ・中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させて頂きます。

講座開始日の前営業日より起算して	キャンセル料
お申し込み日 ～ 11営業日前まで	無料
10営業日前 ～ 6営業日前まで	受講料の50%
5営業日前 ～ 当日	受講料の100%
講座開始後の不参加	受講料の100%

弊社HP
【各種申込】



◆受講料お支払い方法

●(株)福岡ソフトウェアセンター主催講座

講座開催決定後、ご請求書を送付致します。ご請求書に記載しております所定の金融機関に各講座受講終了後より2週間以内にお振り込み下さい。
振込手数料は、貴社負担でお願い致します。

●FISA(一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修

FISA事務局よりご請求書を送付致します。
受講料は、各講座開始日までにお振り込み下さい。
振込手数料は、貴社負担でお願い致します。

◆お申し込みお問い合わせ先

●(株)福岡ソフトウェアセンター主催講座

株式会社 福岡ソフトウェアセンター

【福岡研修室】

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5階(506号室)

TEL:092-292-9710 FAX:092-292-9715 E-mail:info@fsc-go.co.jp

【本社】

〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526-1

TEL:0948-21-1281 FAX:0948-21-0173 E-mail:info@fsc-go.co.jp

●FISA(一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会)タイアップ研修

一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル3F

TEL:092-832-1344 FAX:092-845-1003 E-mail:fisa-info@fisa.jp

◆個人情報の取り扱いについて

株式会社 福岡ソフトウェアセンターは、弊社の教育講座受講のお申し込みの際に貴殿よりご提供された個人情報、及び一般社団法人 福岡県情報サービス産業協会とのタイアップ研修でお申し込みされた個人情報の取り扱いについて次のように管理し、保護に努めます。

1. 個人情報とは

個人情報とは、個人に関する情報であり、氏名、生年月日、電話番号、FAX番号、電子メールアドレス、画像などによって個人を識別できる情報のことをいいます。

2. 収集範囲、利用目的

教育講座受講者を識別する為、氏名・性別・生年月日・企業名・所属部・課名・役職・年齢・従事業務内容・従事期間などの情報を収集致します。

受講通知書の送付・連絡、受講者のご確認、研修を行う上でスキル判断、受講証明の発行、研修の案内、請求書の発行、緊急時の連絡手段、IT技術者育成研修講座の実施に必要となる範囲内において利用致します。

3. 第三者への提供

上記の場合、または法律で定められている場合を除いて、応募される方々の個人情報を当該応募者の同意を得ず第三者に開示・提供することはありません。

4. 個人情報の適正管理について

お預かりした個人情報は弊社で厳密に管理します。なお、貴殿からご提出頂いた必要書類は返却しませんので、予めご了承願います。

5. 個人情報の開示・訂正・削除について

弊社が保有する貴殿の個人情報について、開示を請求することができます。また開示の結果、個人情報の訂正・削除を請求することもできます。貴殿ご自身の個人情報の開示・訂正・削除を請求される場合は、下記連絡先にご連絡をお願い致します。なお、本手続きにあたり、貴殿がご本人であることを確認させて頂くことがあります。

6. 個人情報提供についての同意の確認

上記1～5について同意を頂いた上で、お申し込みをお願い致します。但し、情報の提供は任意です。なお、適切な情報が提供されない場合、当該情報に関する処理が行われませんので、予めご了承下さい。（その際はその都度、個別に説明をさせていただきます。）



※弊社における個人情報の取り扱いについては、下記の弊社ホームページに「個人情報保護方針」を掲載しておりますのでご参照下さい。

<https://www.fsc-go.co.jp/privacy.html>

◆個人情報に関するお問い合わせ先

〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526-1
株式会社 福岡ソフトウェアセンター
個人情報保護管理者
TEL:0948-21-1281
FAX:0948-21-0173
E-mail:info@fsc-go.co.jp


FSC 受講申込書

前頁「個人情報の取り扱いについて」を承諾の上、申し込ます。

会社名			TEL	
住所			FAX	
お申込責任者	氏名		所属部課	
	E-mail		役職	

講座分類	講座名

フリガナ		生年月日		受講場所*	勤務年数
受講者氏名		性別	年齢		SE経験年数
メールアドレス*				所属部課・役職	
1		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
2		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
3		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
4		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年
5		年 月 日		会社・自宅	年
		男・女	歳	その他	年

*オンライン研修をお申し込みの場合は、受講者のメールアドレスと受講場所を必ずご記入下さい。

*最低開催人数は5名とさせて頂いております。

中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させて頂きます。

*お申込みはFAX又は弊社Webサイトよりお申込み下さい。(<http://www.fsc-go.co.jp>)

*受講申込み締切は講座開始日の20日前となります。

*受講申込後のキャンセルにつきましてはP30をご参照下さい。



【研修会場のご案内】



【福岡研修室】

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-11-16 第二大西ビル5階(506号室)

TEL:092-292-9710 FAX:092-292-9715

【Address Map】

【交通アクセス】

JR博多駅より	徒歩	7分
市営地下鉄空港線の祇園駅より	徒歩	4分
西鉄バス博多駅前一丁目のバス停より	徒歩	2分





株式会社 福岡ソフトウェアセンター

本社 〒820-0066 福岡県飯塚市幸袋526-1

福岡研修室 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-11-16
第2大西ビル5F 506

TEL:092-2920-9710 FAX:092-292-9715

